

# 県民健康・栄養調査の現状

## 概要版

平成28年県民健康・栄養調査結果

和歌山県

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、県民の健康状態、食生活の状況、栄養摂取量を把握し、県民の健康づくり及び生活習慣病の予防対策に必要な基礎数値を得るとともに、平成25年度策定した「第三次和歌山県健康増進計画」の中間見直しに反映させることを目的とする。

## 2 調査対象及び客体

調査の対象は、平成28年国民生活基礎調査において設定された単位区内の世帯の世帯員と平成22年国勢調査において設定された単位区の中で、平成28年11月1日現在で満1歳以上の者とした。

調査の客体は、平成28年国民生活基礎調査において設定された和歌山県内の単位区から層化無作為抽出した20単位区と、平成28年国民健康・栄養調査の指定を受けた調査地区10単位区、あわせて30単位区の1,066世帯及び2,492世帯員を調査客体とした。

## 3 調査項目

本調査は、身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査からなり、調査票及び調査項目は次のとおりである。

### (1) 身体状況調査票

調査項目	調査対象
ア. 身長・体重	満1歳以上
イ. 腹囲	満20歳以上
ウ. 血圧	満20歳以上
エ. 1日の運動量	満20歳以上：栄養摂取状況調査票に記録
オ. 血液検査	満20歳以上
カ. 問診（服薬状況、運動）	満20歳以上

### (2) 栄養摂取状況調査票（満1歳以上）

調査項目	調査対象
ア. 世帯状況	氏名、生年月日、性別、妊婦（週数） 授乳婦別、仕事の種類
イ. 食事状況（1日）	朝・昼・夕食別、家庭食・外食・欠食の区別
ウ. 食物摂取状況（1日）	料理名、食品名、使用量、廃棄量、 世帯員ごとの案分比率（朝・昼・夕・間食別）
（身体状況調査項目）	1日の運動量[歩行数]、歩数計の装置状況

(3) 生活習慣・健康意識調査票

食生活、身体活動・運動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。

調査項目	調査対象
食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康等の状態等	満1歳以上

4 調査時期及び調査日数

- ① 身体状況調査：平成28年11～12月中の1日
- ② 栄養摂取状況調査：平成28年11～12月中の1日（日曜日及び祝日は除く）
- ③ 生活習慣・健康意識調査：栄養摂取状況調査日と同日

5 調査要領

(1) 調査員の構成

調査員は、医師、管理栄養士、保健師、臨床（衛生）検査技師及び事務担当者等をもって構成した。栄養摂取状況調査については、主として管理栄養士、栄養士がこれにあたり、身体状況調査については、医師、保健師、臨床（衛生）検査技師等が担当した。

(2) 調査体制

県民健康・栄養調査業務体系は、7頁のとおりである。

(3) 調査票（参考資料162頁参照）

身体状況調査票

栄養摂取状況調査票

生活習慣・健康意識調査票

(4) 調査方法

- ① 身体状況調査は、被調査者を会場に集めて医師等が調査項目の計測及び問診を実施した。
- ② 栄養摂取状況調査、生活習慣調査は、調査員である栄養士等が世帯を訪問して、世帯の代表者及び食事づくり担当者に面接の上、記入方法を指導して作成した。
- ③ 生活習慣・健康意識調査票は、栄養摂取状況調査票と併せて配布し、被調査者本人が記入した。
- ④ 身長、体重、腹囲、血圧、血液検査の測定方法は、国民健康・栄養調査に準じた。

(5) 調査に関する秘密の保持

この調査は、世帯や個人の私的なことに及ぶ場合もあるため、その個人情報保護と管理に万全を期し、被調査者に危惧の念をいだかせないように留意した。

## 6 調査客体の概要

### (1) 調査世帯数

無作為抽出された30単位区のうち調査の協力が得られた世帯数は、603世帯である。

### (2) 年齢階層別状況（対象者）

総数	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	752	19	38	18	20	38	64	107	196	252
血液検査	374	—	—	—	10	23	32	54	115	140
栄養摂取状況調査	1086	30	51	35	51	86	103	156	249	325
生活習慣調査	1316	41	65	44	65	102	130	176	301	392

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	342	10	19	12	13	15	30	46	88	109
血液検査	177	—	—	—	8	9	15	23	55	67
栄養摂取状況調査	502	16	27	20	24	38	55	70	110	142
生活習慣調査	603	20	32	26	33	46	68	78	136	164

女性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	410	9	19	6	7	23	34	61	108	143
血液検査	197	—	—	—	2	14	17	31	60	73
栄養摂取状況調査	584	14	24	15	27	48	48	86	139	183
生活習慣調査	713	21	33	18	32	56	62	98	165	228

### (3) 地域ブロック別状況（栄養摂取状況調査対象者数）

総数	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
1086	363	139	122	57	46	121	150	63	25

### (4) 職業別状況（世帯状況調査回答者数）

	総数	専門的・技術的職業従事者	管理的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農業作業者
総数	1303	105	19	77	44	80	5	47
男性	607	58	16	32	20	25	5	30
女性	696	47	3	45	24	55	0	17

	林業作業者	漁業作業者	運輸・機械運転作業者	生産工程従事者	家事従事者	その他（無職）	保育園児	幼稚園児
総数	0	8	19	97	248	221	16	5
男性	0	7	18	69	9	154	8	3
女性	0	1	1	28	239	67	8	2

	その他の幼児	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生	その他学生	不明
総数	6	12	12	11	28	40	203
男性	4	7	6	6	17	21	92
女性	2	5	6	5	11	19	111

## 7 本書利用上の注意

### (1) 栄養素等摂取量の算出

栄養素等摂取量の算出には、「日本食品標準成分表2010」（以下、「標準成分表」という。）を使用した。

栄養素等摂取量は、調理後（ゆで、油いため等）の成分値が標準成分表に記載されている食品は、これを用いた。また、その他の食品については、標準成分表に記載されている調理による「重量変化率」を加味して算出した。

### (2) 食品群分類

食品群分類は、国民健康・栄養調査に準じた。

### (3) 食事内容

次の区分により集計した。

#### ア 外食

飲食店での食事及び家庭以外の場所で出前をとったり市販のお弁当を買って食べるなど、家庭で調理せず、食べる場所も家庭ではない場合。

#### イ 調理済み食

すでに調理されたものを買ってきたり、出前をとって家庭で食べた場合。

#### ウ 給食

- ・ 保育所・幼稚園給食、学校給食（教職員は、職場給食）
- ・ 職場給食

#### エ 家庭食

- ・ 家庭で作った食事や弁当を食べた場合

#### オ その他

- ・ 菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合
- ・ 錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンク剤のみの場合
- ・ 食事をしなかった場合（欠食）

### (4) 血圧の分類

	収縮期血圧（最高血圧）（mmHg）		拡張期血圧（最低血圧）（mmHg）
至適血圧	<120	かつ	<80
正常血圧	120～129	かつ/または	80～84
正常高値血圧	130～139	かつ/または	85～89
I 度高血圧	140～159	かつ/または	90～99
II 度高血圧	160～179	かつ/または	100～109
III 度高血圧	≥180	かつ/または	≥110
収縮期高血圧	≥140	かつ	<90

（「日本高血圧学会（2014年）による血圧の分類」より）

(5) 肥満の判定

BMI (Body Mass Index、次式) を用いて判定した。

$$BMI = \text{体重} \text{ kg} / (\text{身長} \text{ m})^2$$

男女とも 20 歳以上 BMI = 22 を標準とし、肥満の判定基準は下記のとおりである。

判定	低体重 (やせ)	普通	肥満
BMI	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上

(「日本肥満学会(2011年)による肥満の判定基準」より)

学校保健統計調査方式による肥満度判定

6～14 歳における肥満度は、年齢別、身長別標準体重から判定した。

	やせ傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
判定	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超 -20%以下	-20%超～ +20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

$$\text{肥満度 (過体重度)} = (\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

$$\text{身長別標準体重 (kg)} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢	係数			
	男子		女子	
	a	b	a	b
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264

(参考) ①財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」(2006), ②村田光範, 伊藤けい子: 平成14年度厚生労働省厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業 小児の栄養・運動・休養からみた健康度指標と QOLに関する研究 身体活動からみた健康度指標と QOLに関する研究 (2003)

(6) “メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い”の判定

県民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドロームの診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下のとおりとした。

**メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者**

腹囲が男性 85 cm、女性 90 cm 以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち2つ以上の項目に該当する者。

**メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者**

腹囲が男性 85 cm、女性が 90 cm 以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者。

※ “該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ／または「服薬」がある場合とする。

腹囲	腹囲（ウエスト周囲径） 男性：85 cm以上 女性：90 cm以上		
項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・ HDL コレステロール値 40mg/d l 未満	・ 収縮期血圧値 130mmHg 以上 ・ 拡張期血圧値 85mmHg 以上	・ ヘモグロビン A1c 値 6.0%以上 (NGSP 値)
服薬	・ コレステロールを下げる薬服用 ・ 中性脂肪を下げる薬服用	・ 血圧を下げる薬服用	・ 血糖を下げる薬服用 ・ インスリン注射使用

(参考：厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～」平成 17 年 8 月)

(7) “糖尿病が強く疑われる人”、“糖尿病の可能性を否定できない人”の判定

**糖尿病が強く疑われる人**

ヘモグロビン A1c 値が 6.5%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人

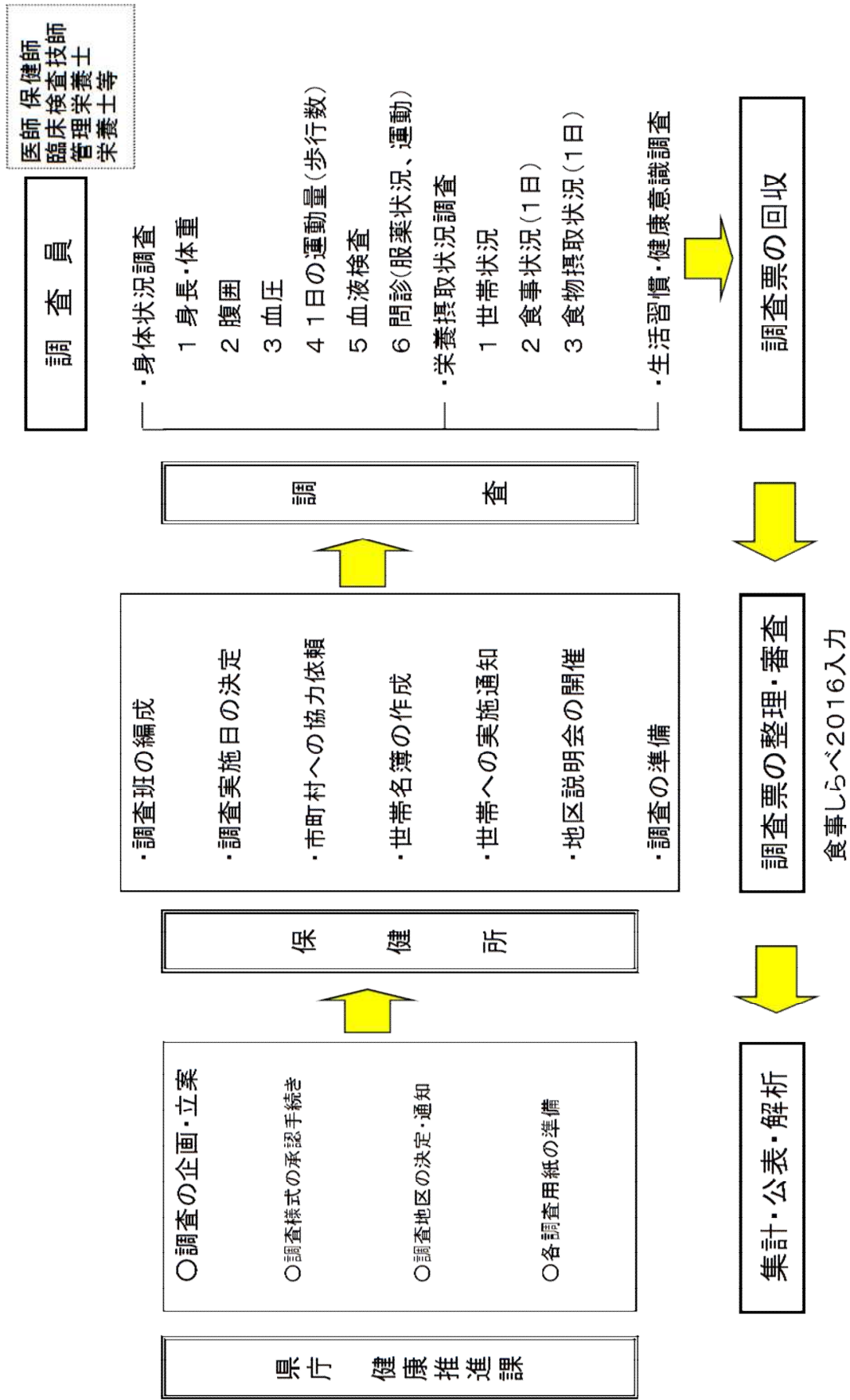
**糖尿病の可能性を否定できない人**

ヘモグロビン A1c 値が 6.0%以上、6.5%未満で、“糖尿病が強く疑われる人”以外の人

※糖尿病実態調査（厚生労働省）と同様の基準



# 県民健康・栄養調査業務体系



# 結果の概要

# 第1部 体型に関する状況

## 1. 肥満及びやせの状況

肥満者 (BMI $\geq$ 25) の割合は男性 24.9%、女性 17.9%であり、男性では 30 代以上、女性では 50 代以上それぞれで高率であった。

一方、やせ (BMI $<$ 18.5) の者の割合は、男性 12.6%、女性 14.7%であり、男性では 20 歳代 (23.1%)、女性では 30 歳代 (26.1%)、40 歳代 (21.2%) で、その割合が高い。

図 1-1 肥満者 (BMI  $\geq$  25) の割合 (20 歳以上)

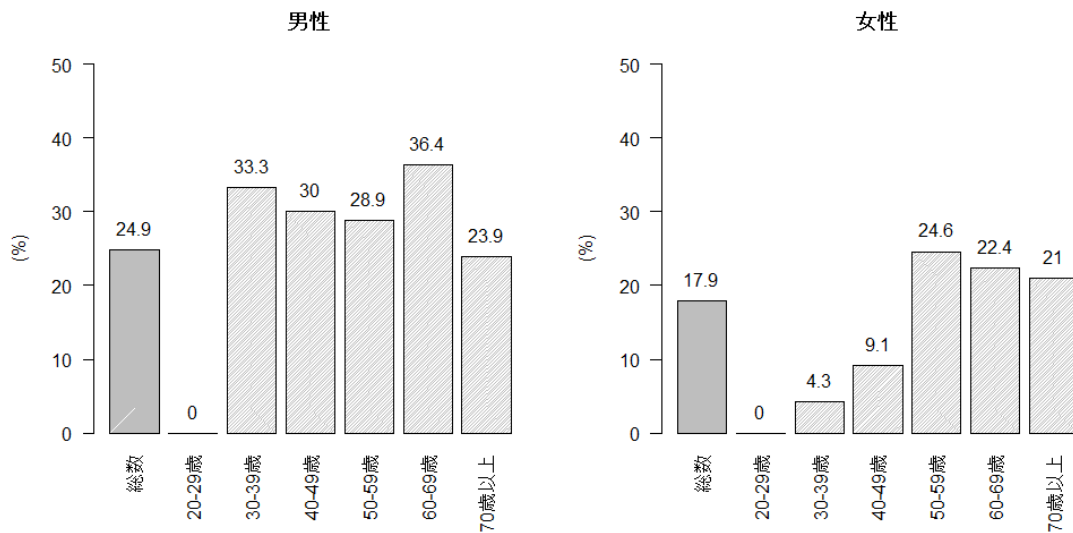


図 1-2 やせ (BMI  $<$  18.5) の割合 (20 歳以上)

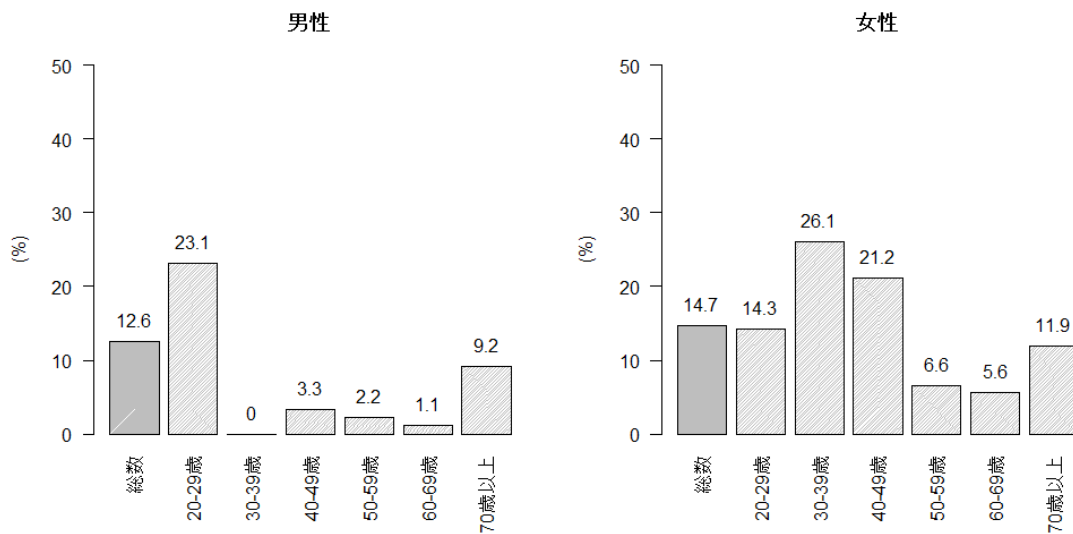


図 1-3 肥満者 (BMI≧25) の割合 (平成 17 年~28 年の推移)

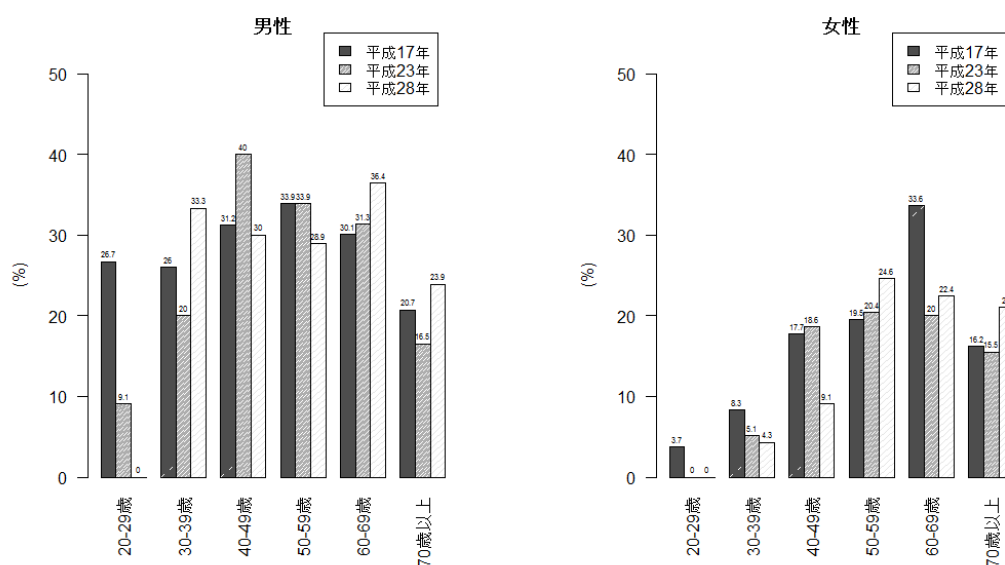
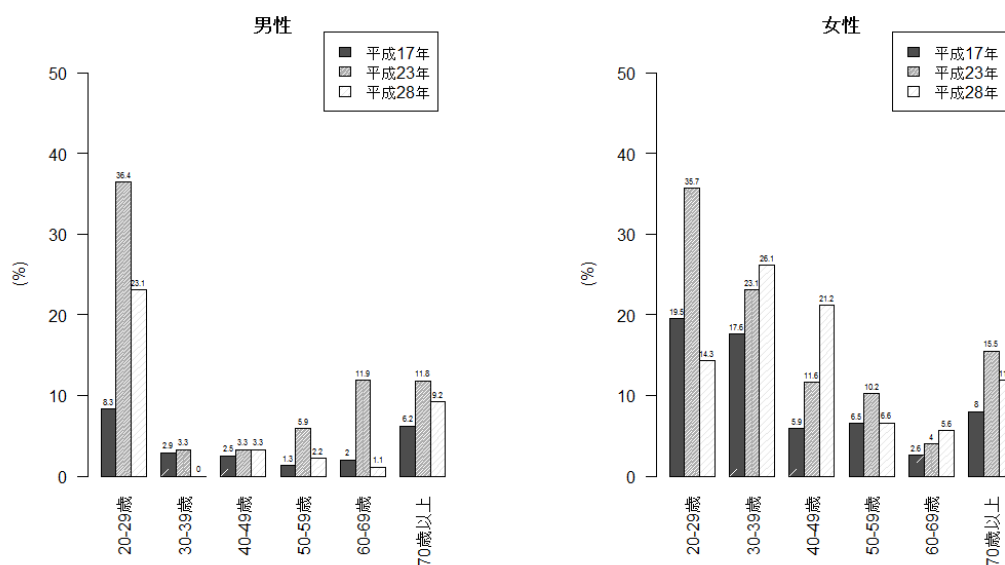


図 1-4 低体重 (やせ) 者 (BMI<18.5) の割合 (平成 17 年~28 年の推移)



\* 肥満度：BMI(Body Mass Index)を用いて判定

BMI = 体重[kg] / (身長[m])<sup>2</sup>により算出

BMI < 18.5 低体重 (やせ)

18.5 ≦ BMI < 25.0 普通体重 (正常)

BMI ≧ 25.0

(日本肥満学会肥満診断基準検討委員会、2011)

〔参考〕

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

20~60歳代男性の肥満者 目標値：26%

40~60歳代女性の肥満者 目標値：17%

20歳代女性のやせの者 目標値：24%

## 第2部 身体活動・運動習慣に関する状況

### 1. 運動習慣者の状況

運動習慣のある者の割合は、男性 30.8%、女性 22.8%であり、平成 23 年に比べて男性で減少している。

一方、歩数の平均値は男性 6008 歩、女性 5346 歩であり、平成 23 年に比べ男女ともに減少している。

図 2-1 運動習慣のある者の割合（平成 17 年～28 年の推移）

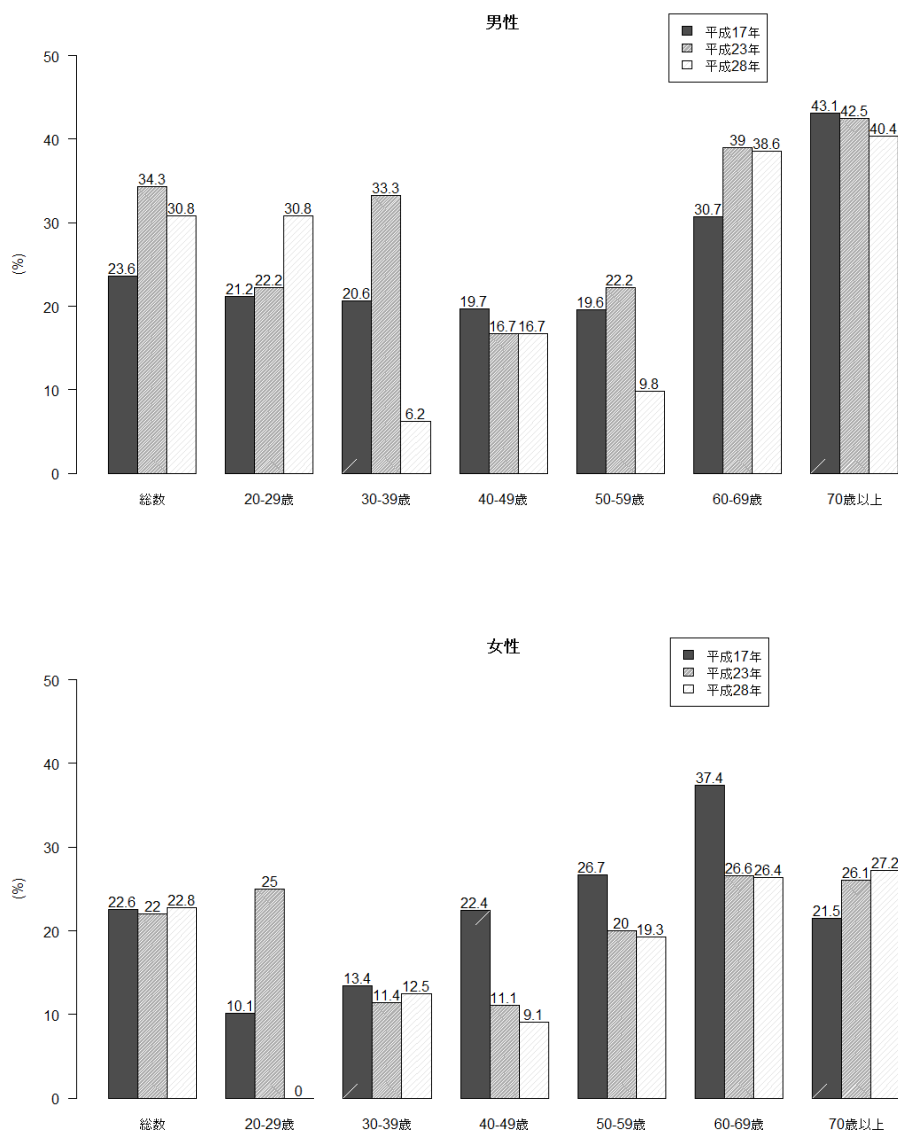


図 2-2 運動習慣のある者の割合  
(20歳以上) (平成8年～28年の推移)

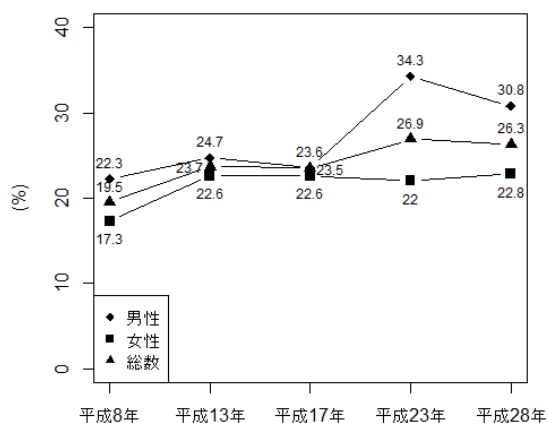
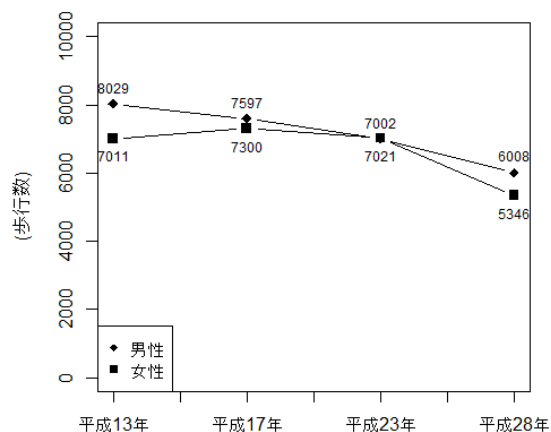


図 2-3 一日の歩数  
(20歳以上) (平成13年～28年の推移)



**〔参考〕**

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

運動習慣者の増加

20～64歳：男性 34% 女性 27% 総数 30%

65歳以上：男性 56% 女性 38% 総数 46%

**〔参考〕**

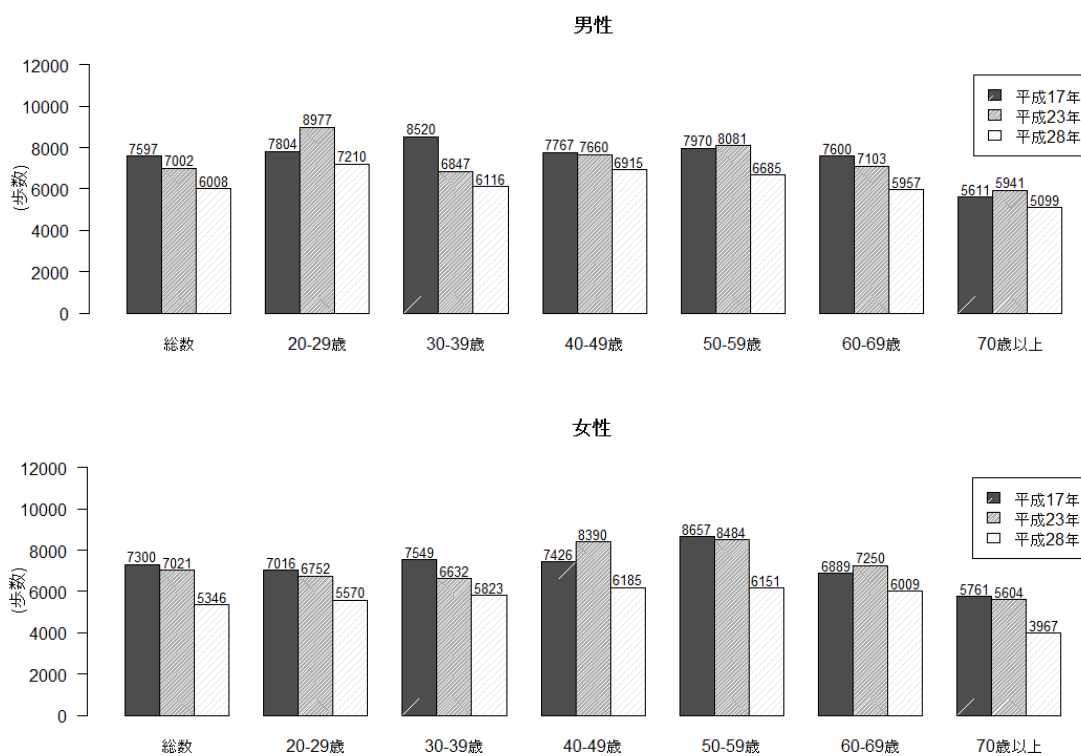
「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

日常生活における歩数の増加

20～64歳：男性 9000歩 女性 9000歩

65歳以上：男性 7500歩 女性 7000歩

図 2-4 一日の歩数の推移 (20歳以上) (平成17年～28年の年次推移)



## 第3部 たばこに関する状況

### 1. 喫煙の状況

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性 27.9%、女性 5.5%であり、平成 8 年以降、男性では大きく減少している。

女性では、50 歳代が特に増加している。

図 3-1 喫煙の状況（20 歳以上）

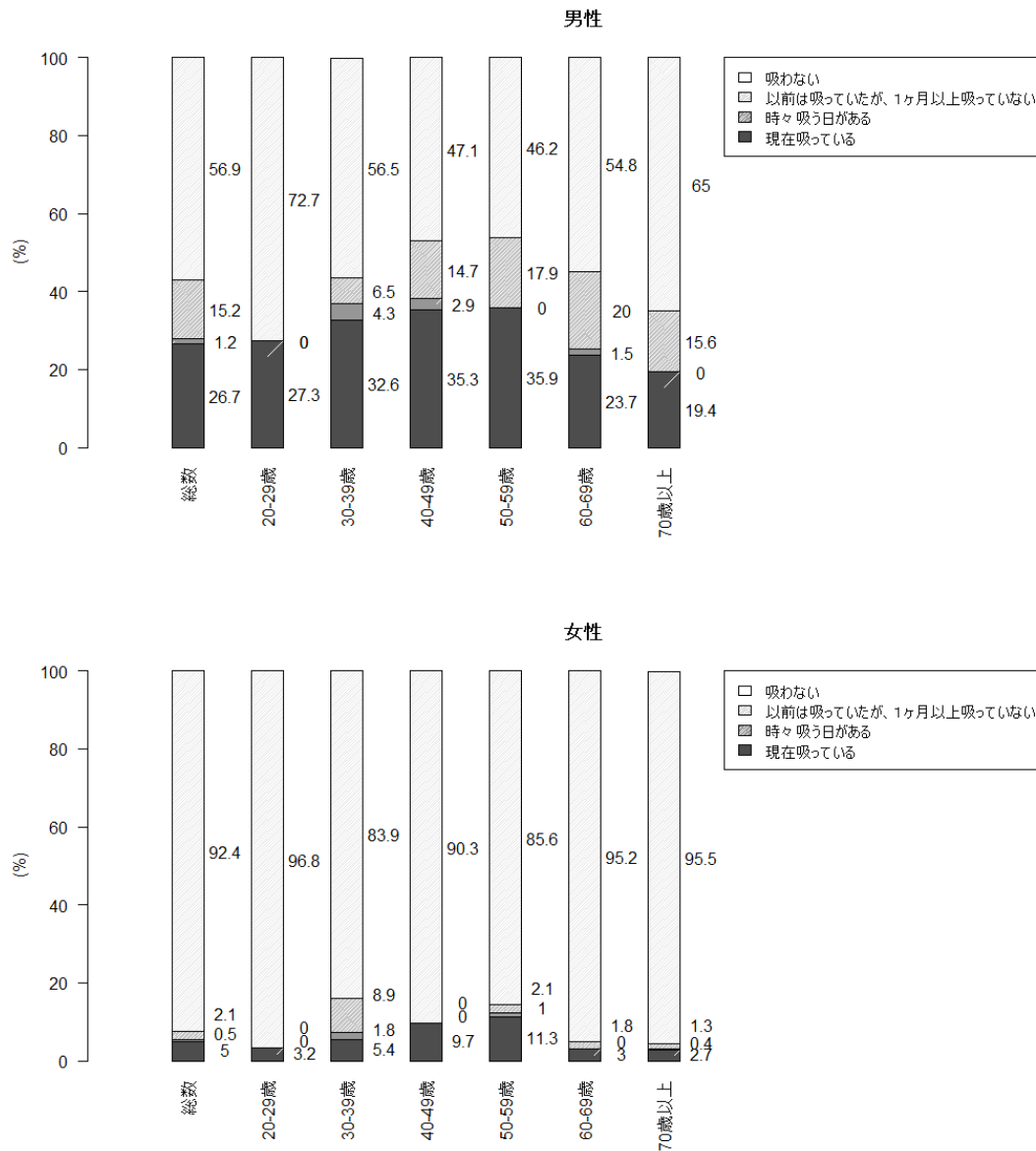


図 3-2 現在習慣的に喫煙している者の割合（平成 17 年～28 年の推移）

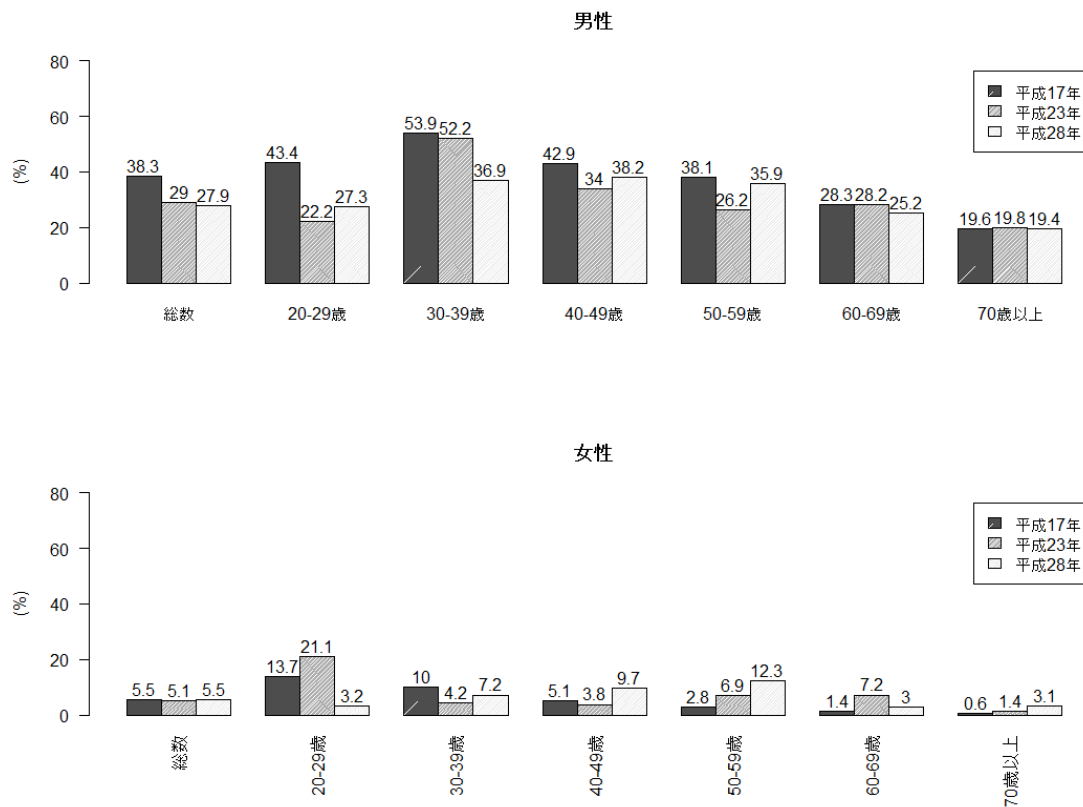
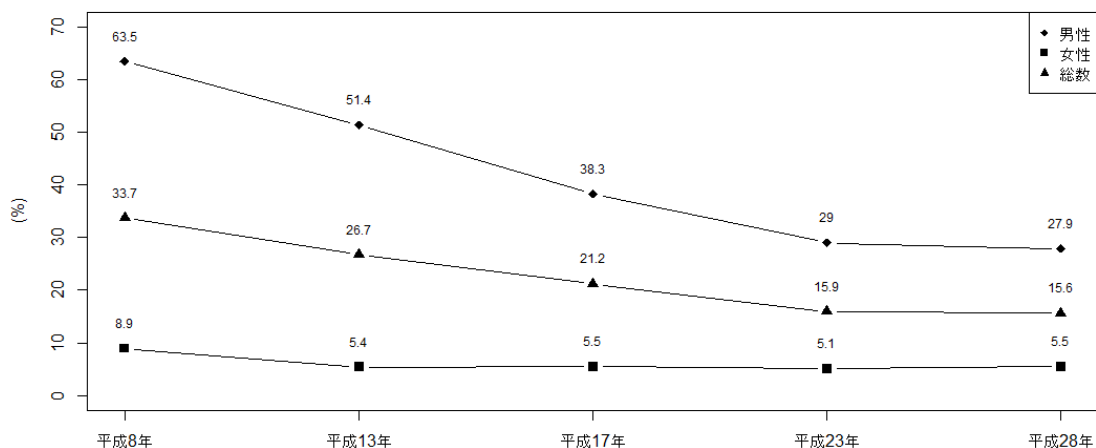


図 3-3 現在習慣的に喫煙している者の割合（平成 8 年～28 年）



【参考】

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

成人の喫煙率の減少

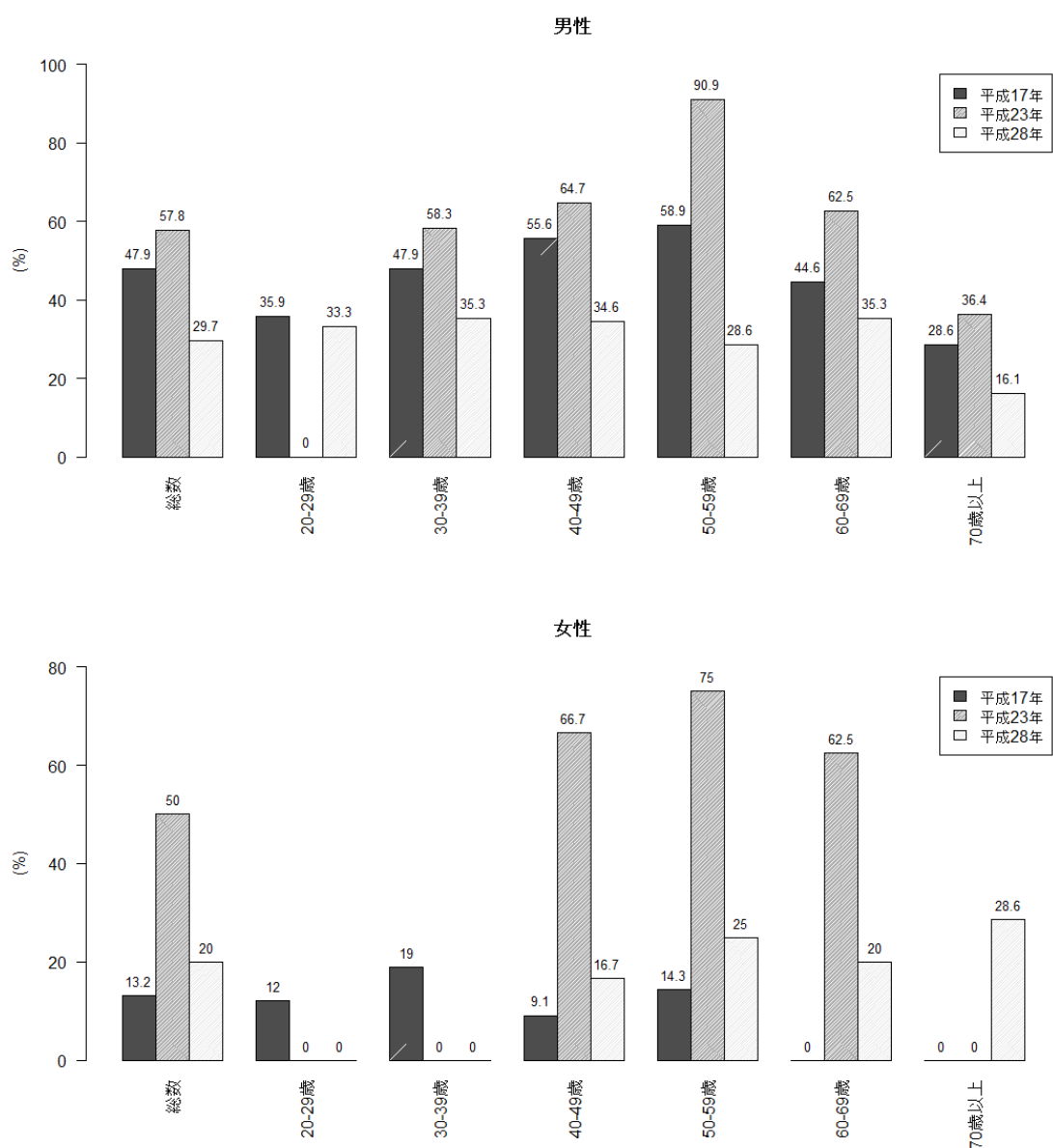
男性 18.9% 女性 3.5%



## 2. 喫煙本数の状況

現在習慣的に喫煙している者で、1日に約20本以上吸う者の割合は減少している。

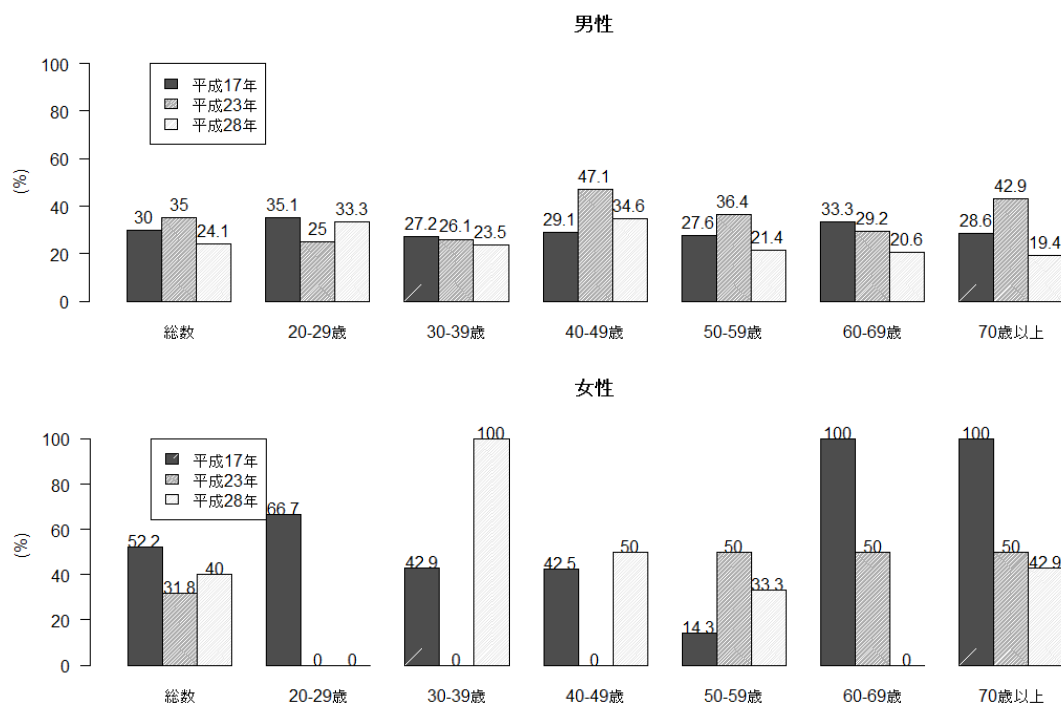
図3-4 現在習慣的に喫煙している者における1日約20本以上吸う者の割合  
(平成17年～23年は20本以上、平成28年は21本で換算)



### 3. 禁煙の意志の有無

現在習慣的に喫煙している者で、たばこをやめたいと思う者の割合は、男性 24.1%、女性 40.0%であり、平成 23 年と比較して女性では増加している。

図 3-5 現在習慣的に喫煙している者におけるたばこをやめたいと思う者の割合  
(平成 17 年～28 年の年次推移)



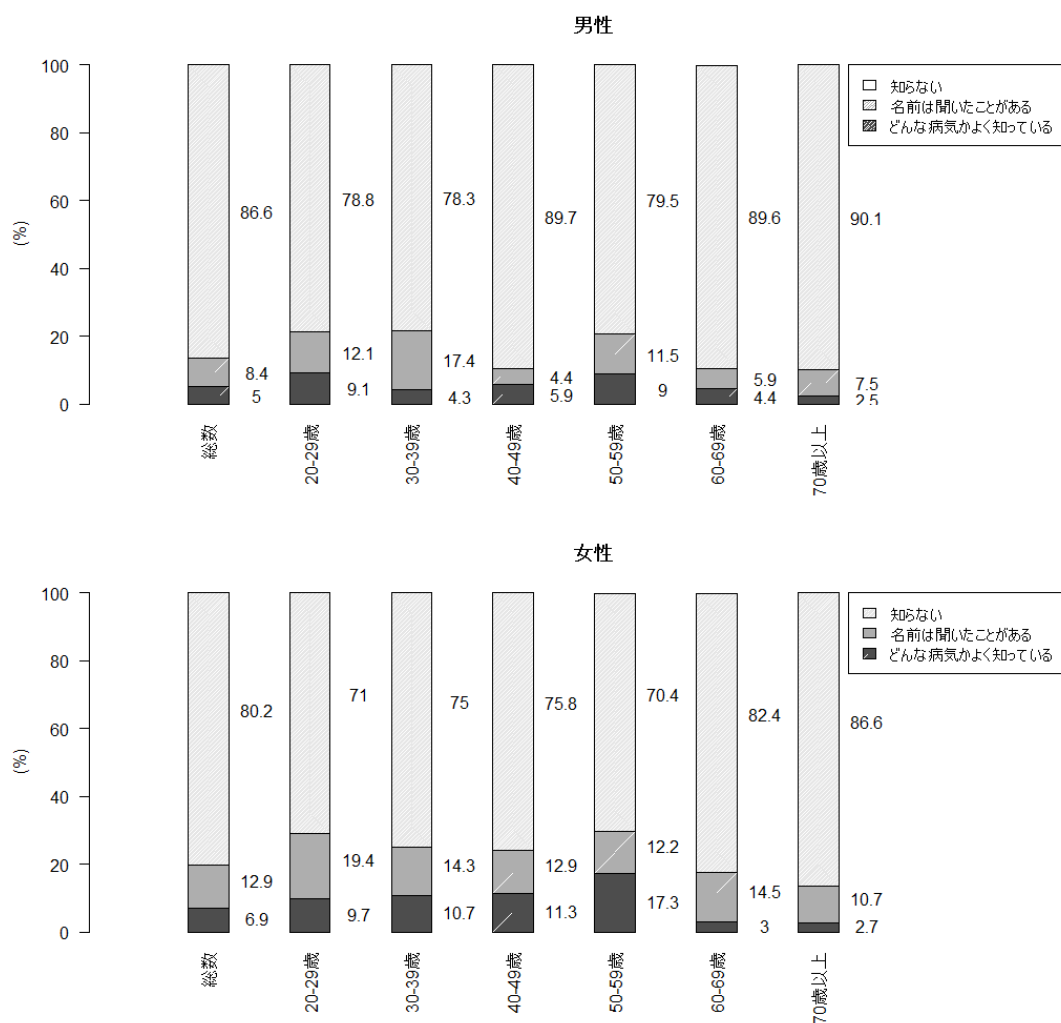
\* 「たばこをやめたいと思いますか」の問に対して「やめたい」と回答した者の割合  
[参考]現在習慣的に喫煙している者における禁煙の意志を示す者の割合 (%)

男性		総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成17年	やめたい	30.0	35.1	27.2	29.1	27.6	33.3	28.6
	本数を減らしたい	50.7	46.8	55.4	52.3	55.2	40.7	46.4
平成23年	やめたい	35.0	25.0	26.1	47.1	36.4	29.2	42.9
	本数を減らしたい	29.0	50.0	21.7	11.8	36.4	37.5	33.3
平成28年	やめたい	24.1	33.3	23.5	34.6	21.4	20.6	19.4
	本数を減らしたい	34.5	22.2	17.6	34.6	39.3	32.4	45.2
女性		総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成17年	やめたい	52.2	66.7	42.9	45.5	14.3	100.0	100.0
	本数を減らしたい	41.8	29.2	42.9	54.5	85.7	0.0	0.0
平成23年	やめたい	31.8	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
	本数を減らしたい	27.3	75.0	50.0	0.0	25.0	12.5	0.0
平成28年	やめたい	40.0	0.0	100.0	50.0	33.3	0.0	42.9
	本数を減らしたい	17.1	0.0	0.0	0.0	33.3	20.0	14.3

#### 4. COPD の認知度

COPD という病気について、どんな病気かよく知っている、もしくは名前は聞いたことがあると回答した者の割合は、男性 8.9%、女性 19.8%である

図 3-6 COPD の認知度についての割合



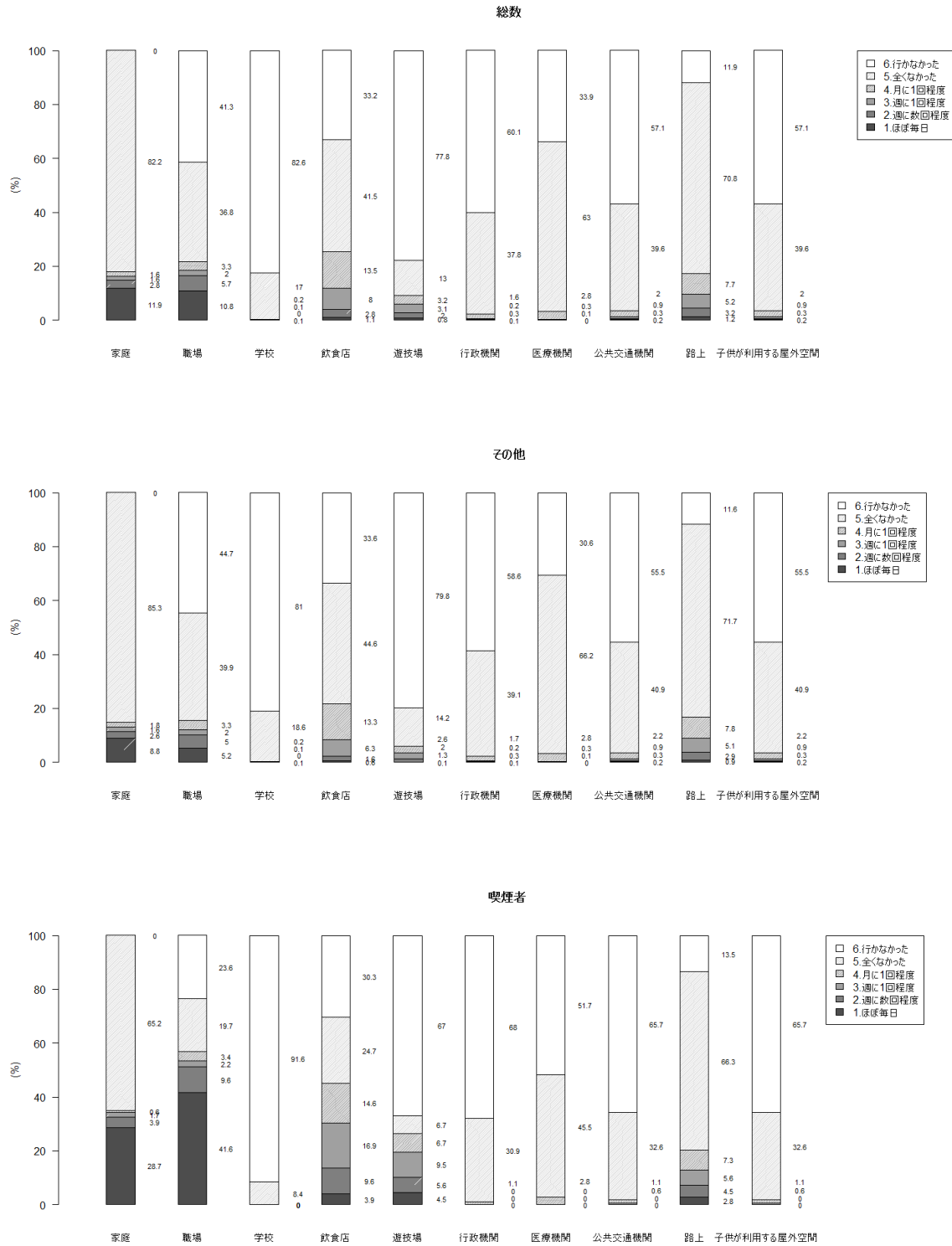
**〔参考〕**

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

COPD の認知度の向上：80.0%

## 5.受動喫煙の状況

図 3-7 この一カ月で受動喫煙を経験した者の割合

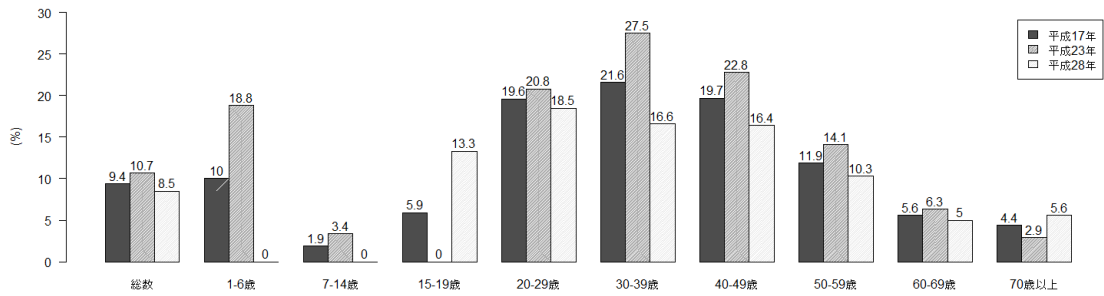


## 第4部 食習慣に関する状況

### 1.朝食欠食の状況

朝食を欠食する者の割合は、男性では30代が最も多く、男女とも30代、40代で高い。

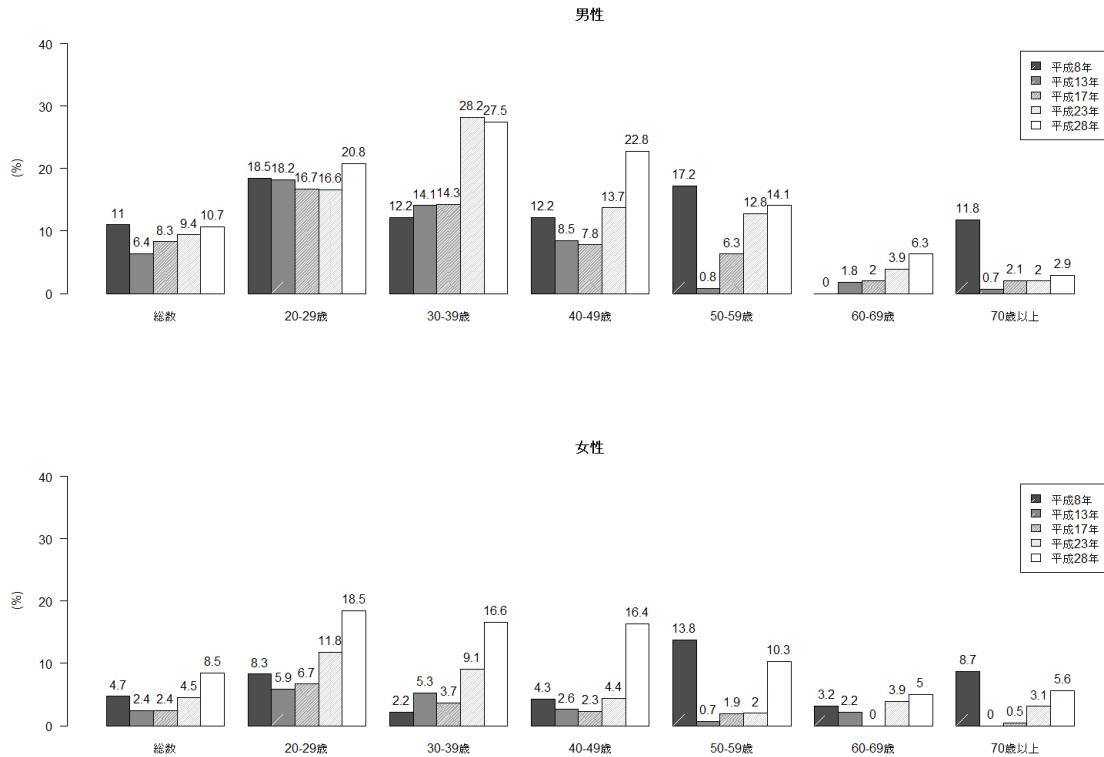
図4-1 朝食欠食の状況（1歳以上）



\* 「欠食」とは下記の3つの場合である。

- ・菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合
- ・錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合
- ・食事をしなかった場合

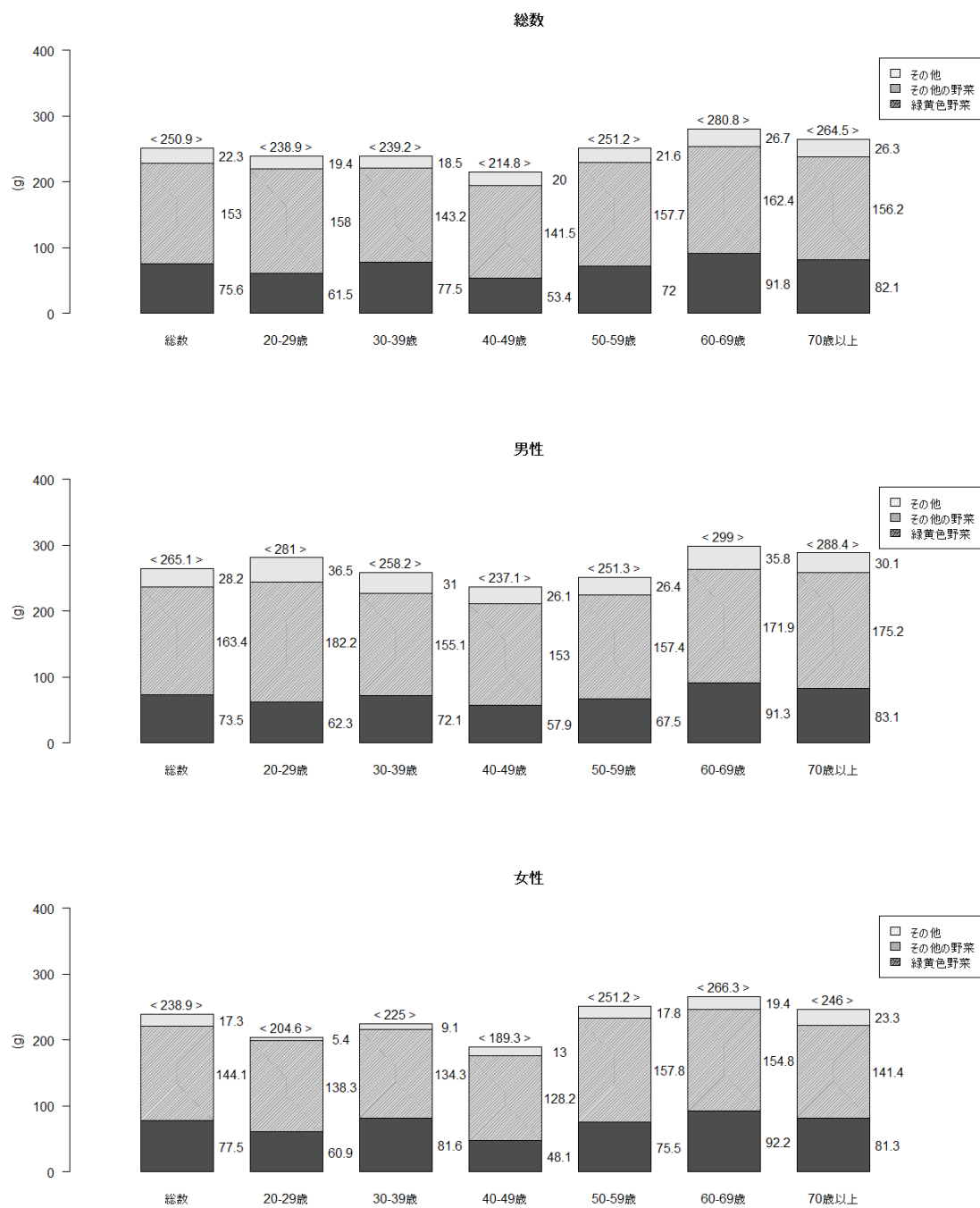
図4-2 朝食欠食率の推移（平成8年～28年の推移）



## 2. 野菜摂取の状況

野菜摂取量(緑黄色野菜またはその他の野菜)は、成人で平均 250.9g である。また、年次推移をみると、いずれも前回より少なくなっていることが分かった。

図 4-3 野菜摂取量の平均値



\* <>内は「緑黄色野菜」及び「その他の野菜（野菜のうち緑黄色野菜以外）」摂取量の合計

図 4-4 野菜摂取量の平均値（平成 3 年～平成 28 年）

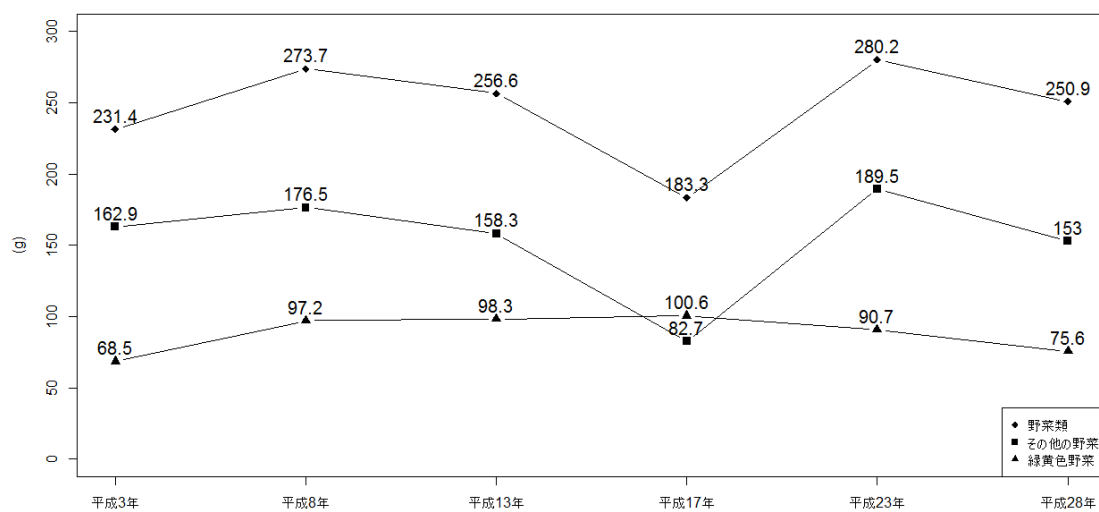


表 4-1 野菜類の摂取状況

		70g (1皿) 未満	70g (1皿) 以上	140g (2皿) 以上	210g (3皿) 以上	280g (4皿) 以上	350g (5皿) 以上
男性	人	36.0	62.0	71.0	84.0	64.0	111.0
	%	8.4	14.5	16.6	19.6	15.0	25.9
女性	人	55.0	84.0	108.0	96.0	81.0	100.0
	%	10.5	16.0	20.6	18.3	15.5	19.1

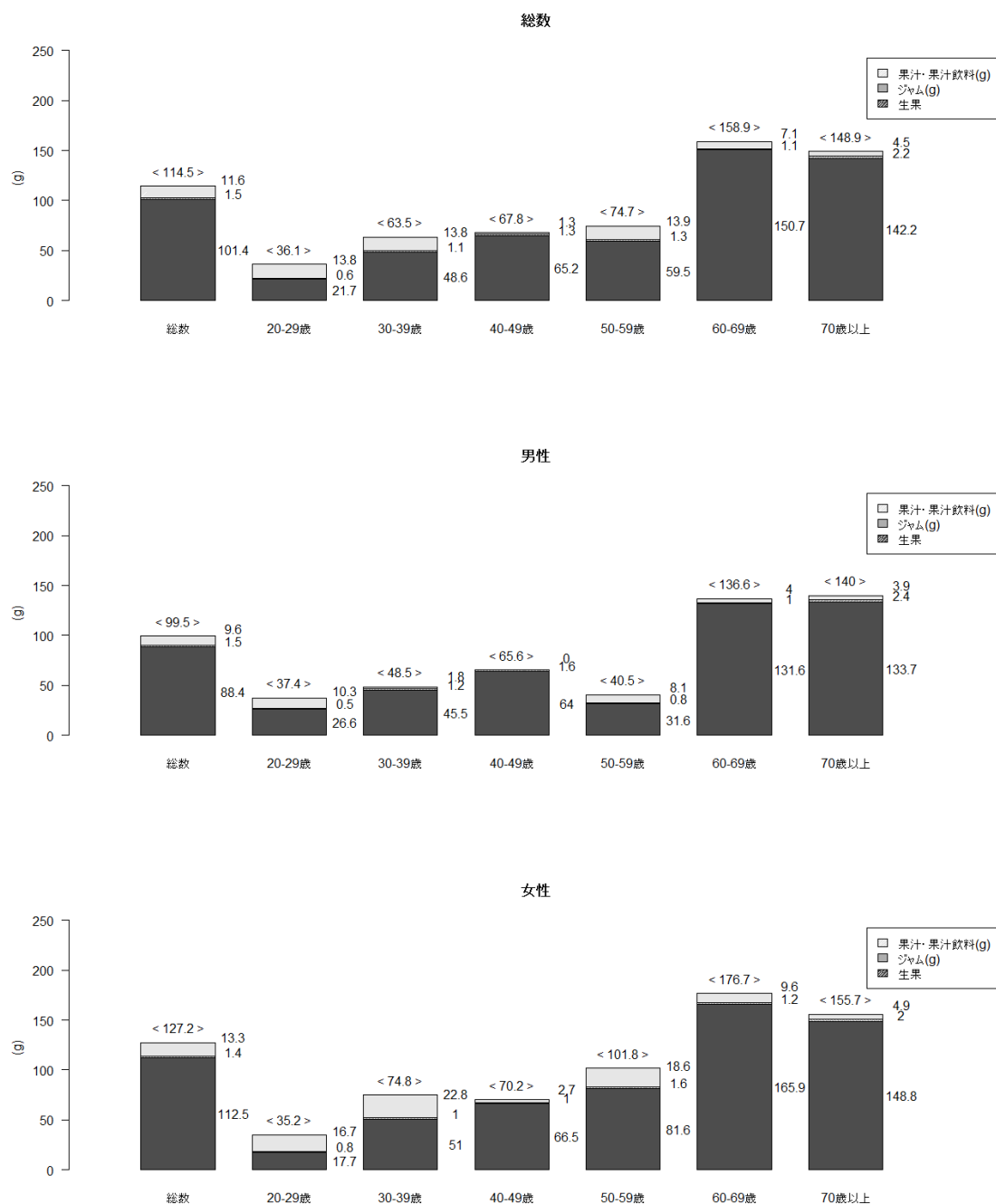
〔参考〕

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値  
1日あたりの野菜摂取量の平均 350g

### 3. 果物類摂取の状況

果物類摂取量の平均は、成人男性は 99.5g、成人女性は 127.2g である。

図 4-5 果物摂取量の平均値



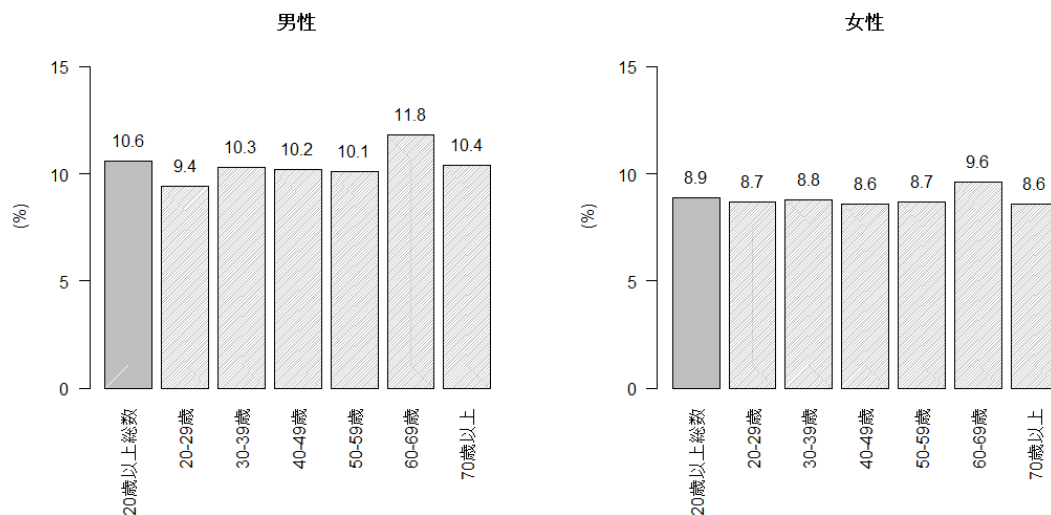
\* < >内は「果汁・果汁飲料」「ジャム」「生果」摂取量の合計



#### 4.食塩摂取量

成人の食塩摂取量の平均は男性 10.6g、女性 8.9g である。また、年次推移をみると、男女とも減少している。

図 4-6 食塩摂取量の平均値 (20 歳以上)



男性	8.0g未満	8.0g以上
人	174	328
%	34.7	65.3

女性	8.0g未満	8.0g以上
人	279	305
%	47.8	52.2

女性	7.0g未満	7.0g以上
人	205	379
%	35.1	64.9

**〔参考〕**

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

食塩摂取量の減少 成人 8.0g

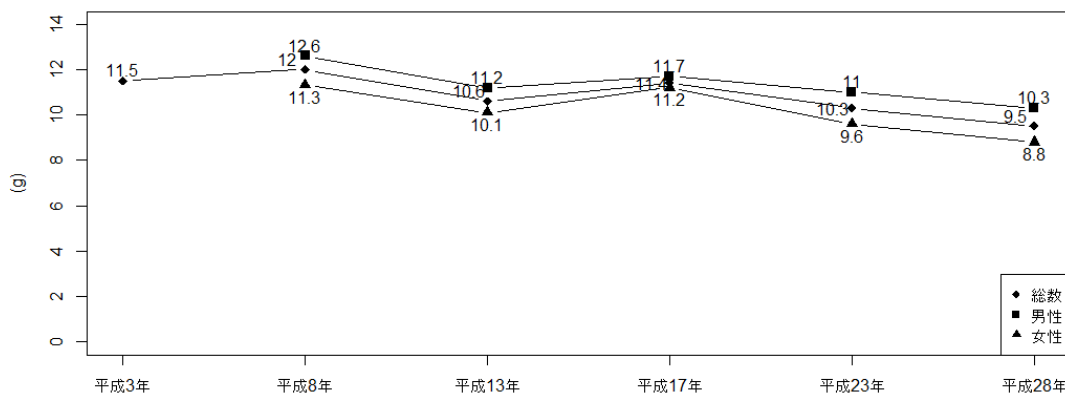
日本人の食事摂取基準 (2015)

18 歳以上男性 8.0g 未満

18 歳以上女性 7.0g 未満

\* 食塩摂取量 (g) = ナトリウム(mg) × 2.54 / 1,000

図 4-7 食塩摂取量の平均 (1 歳以上総数) (平成 3 年～平成 28 年)



## 5. エネルギーの栄養素別摂取構成

脂質の総エネルギーに占める割合（脂肪エネルギー比率）の平均は、男性 25.6%、女性 26.9%である

図 4-8 エネルギーの栄養素別摂取構成比の推移（1歳以上）

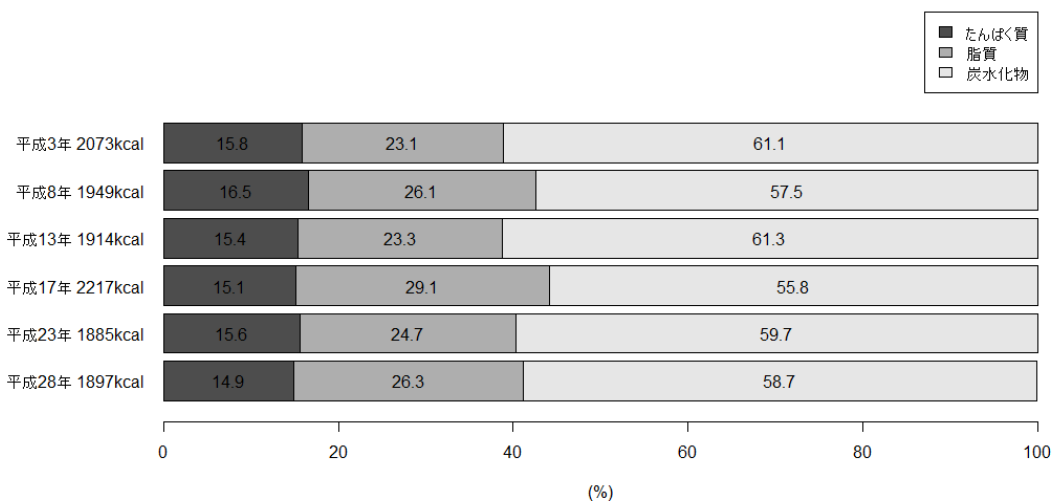
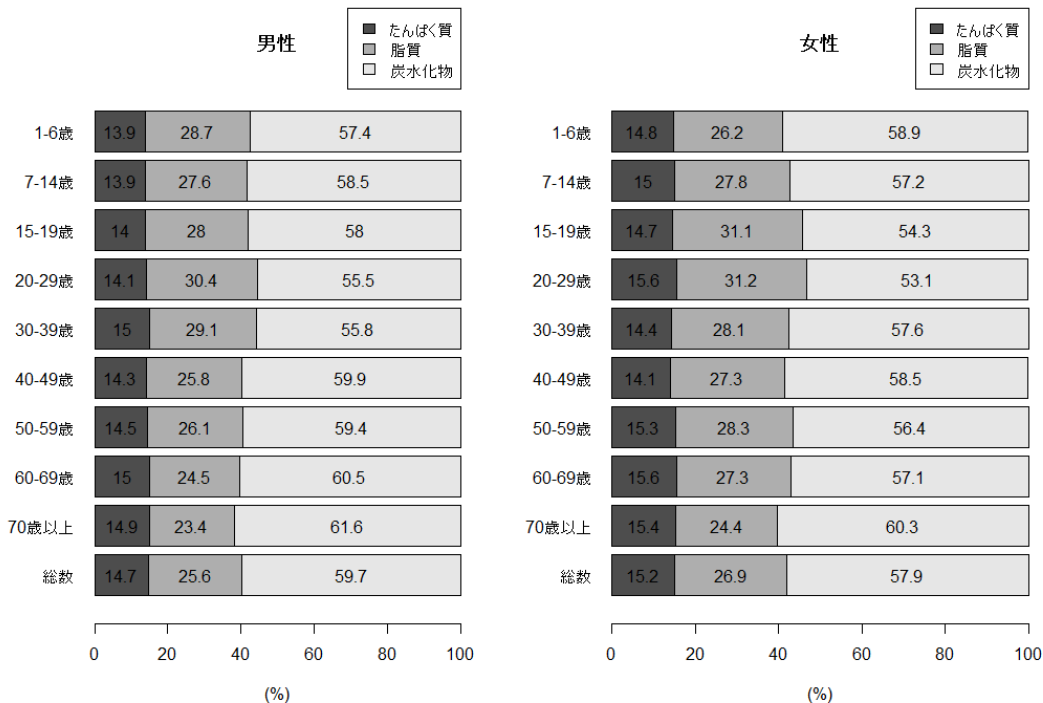


図 4-9 エネルギーの栄養素別摂取構成比



## 6.脂肪エネルギー比率の分布

脂肪エネルギー比率が30%以上の者の割合は、成人の男性 25.2%、女性 30.5%である。

図 4-10 脂肪エネルギー比率の状況

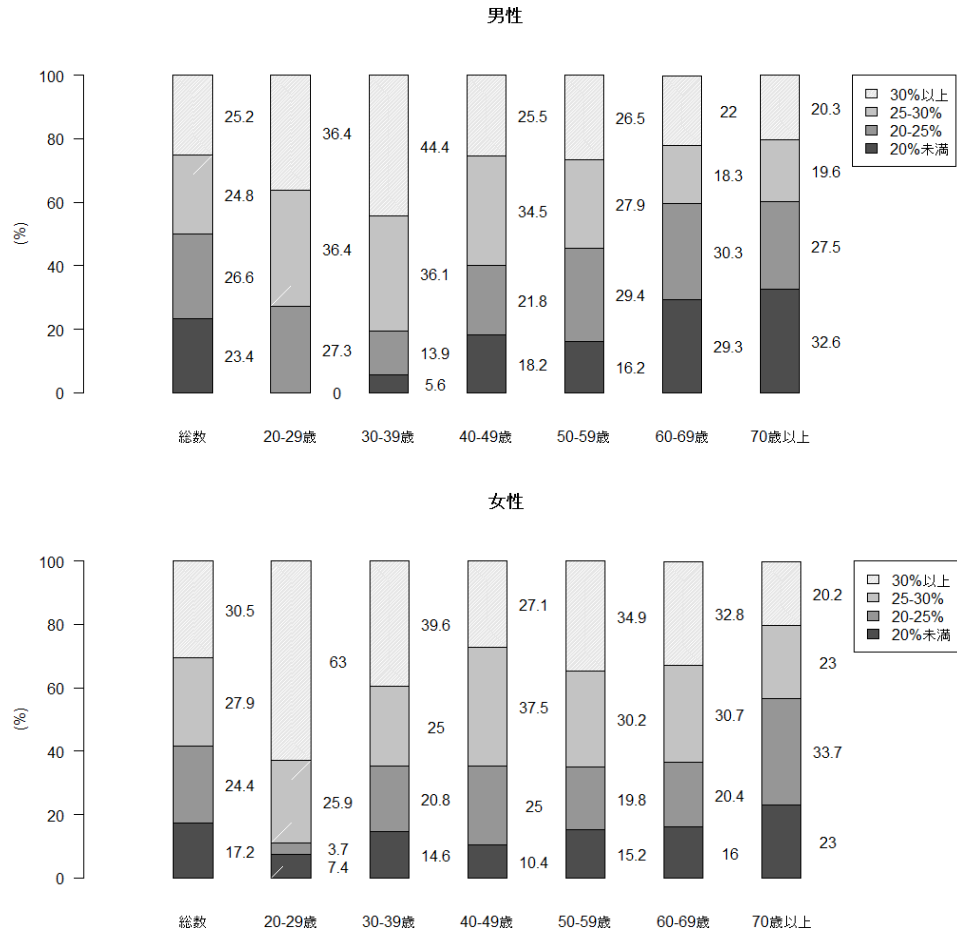
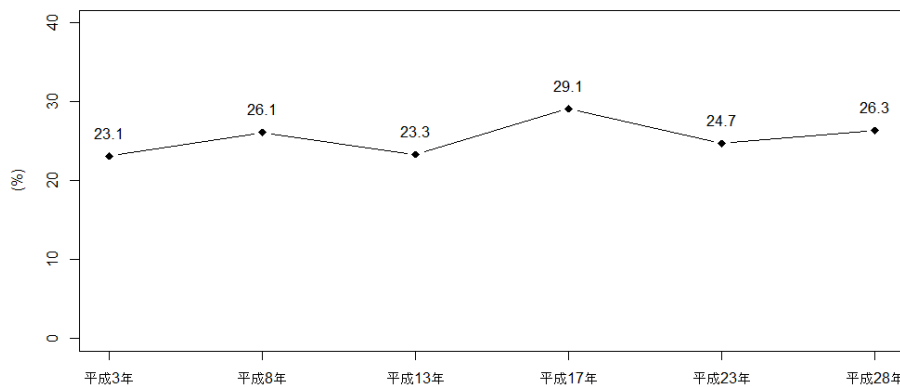


図 4-11 脂肪エネルギー比率の平均 (平成3年～平成28年)

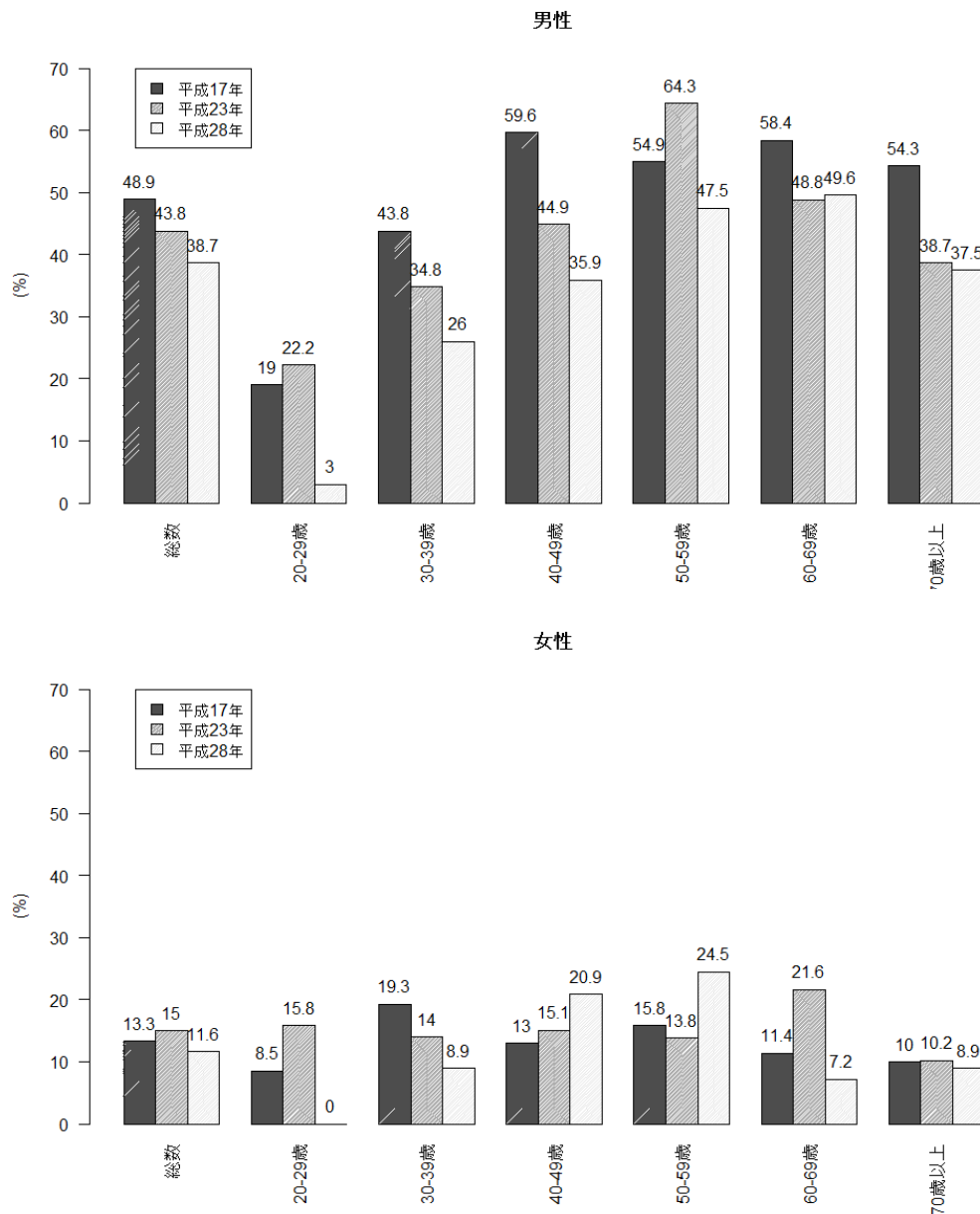


## 第5部 飲酒に関する状況

### 1. 飲酒の状況

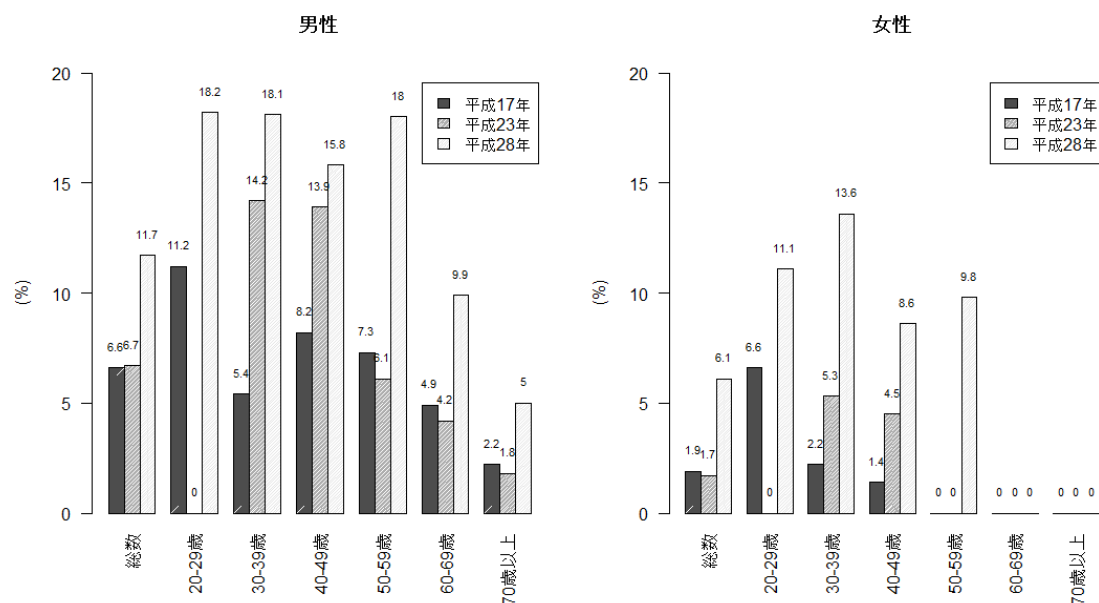
飲酒習慣のある者の割合は、男性 38.7%、女性 11.6%である。

図 5-1 飲酒習慣のある者の割合（平成 17 年～28 年の推移）



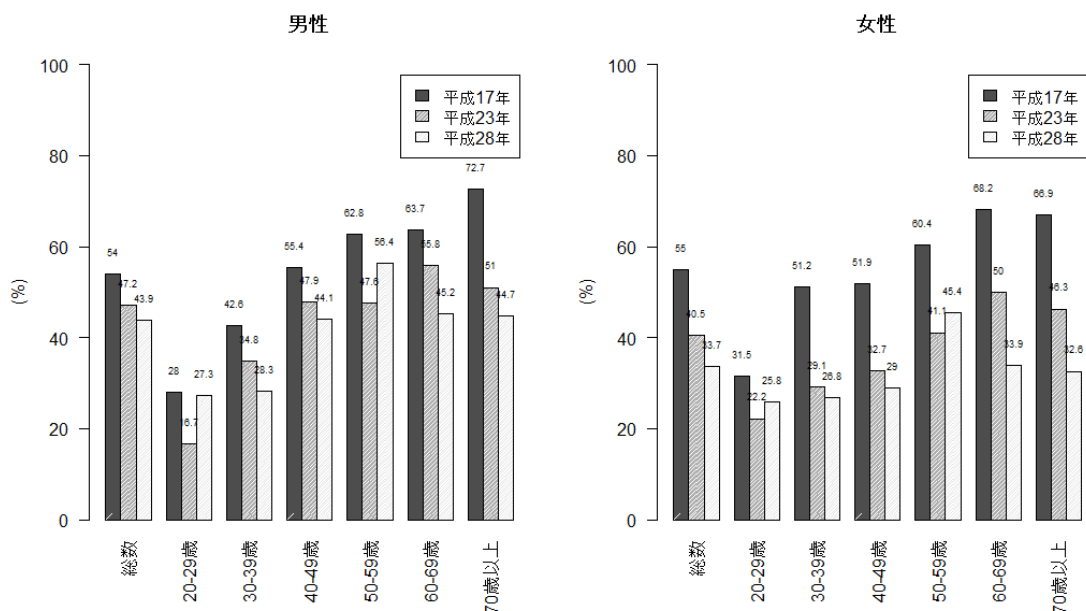
\* 飲酒習慣のある者：平成 28 年度の調査で「毎日飲む」および「週 5～6 日飲む」と回答した者

図 5-2 飲酒日 1 日あたり 3 合以上飲酒する者の割合（平成 17 年～平成 28 年の推移）



「節度ある適度な飲酒」を認識している者の割合は、男性 43.9%、女性 33.7%である。

図 5-3 「節度ある適度な飲酒」を認識している者の割合（平成 17 年～28 年の推移）



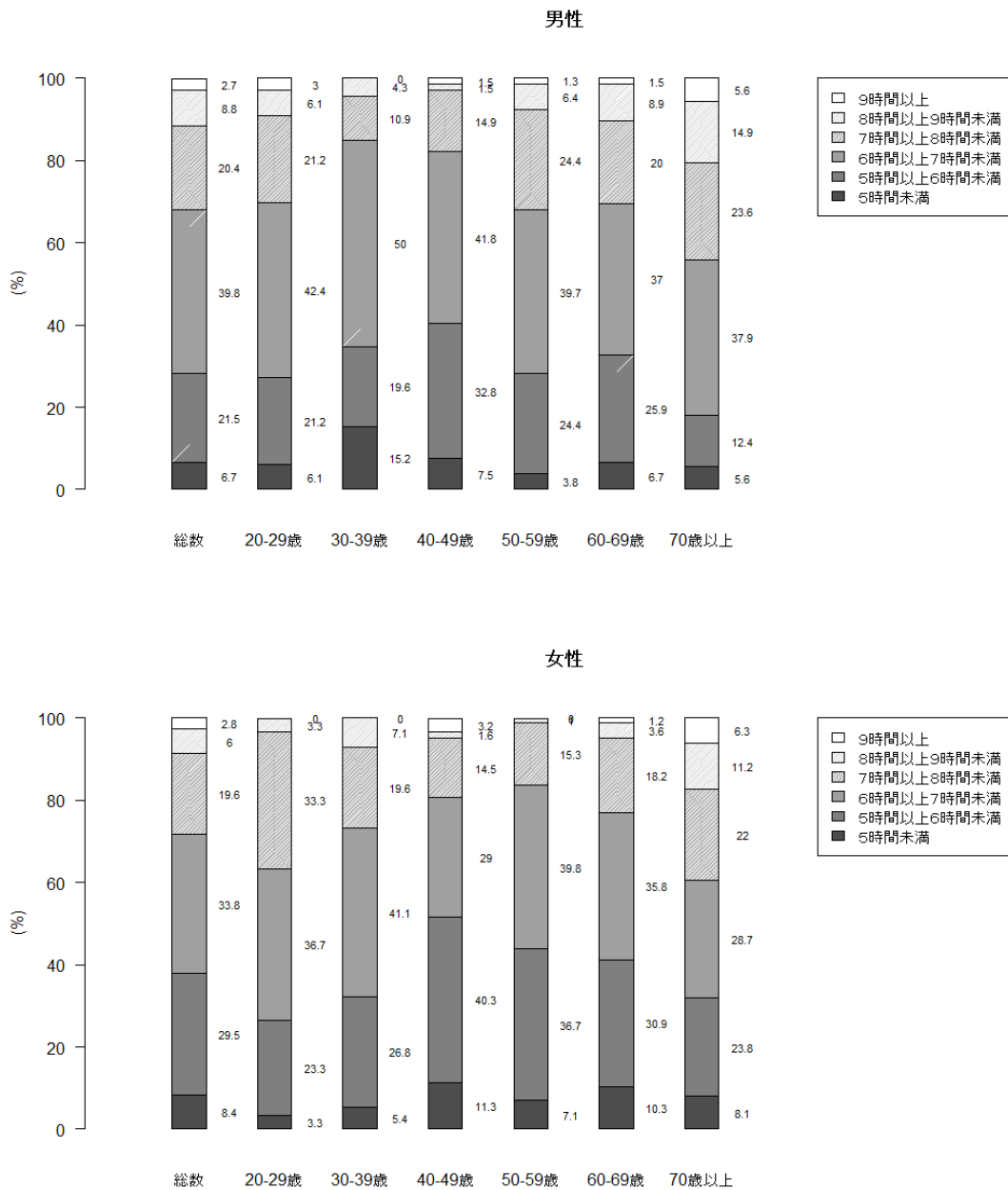
\*平成 28 年度調査における「節度ある適度な飲酒を認識している者」とは、1 日男性 2 合未満、女性 1 日合未満が適度な飲酒であるということを「知っている」と答えた者

# 第6部 睡眠・休養に関する状況

## 1.睡眠の状況

1日の平均睡眠時間は男女ともに「6時間以上7時間未満」と回答した者の割合が最も多く、男性39.8%、女性33.8%である。

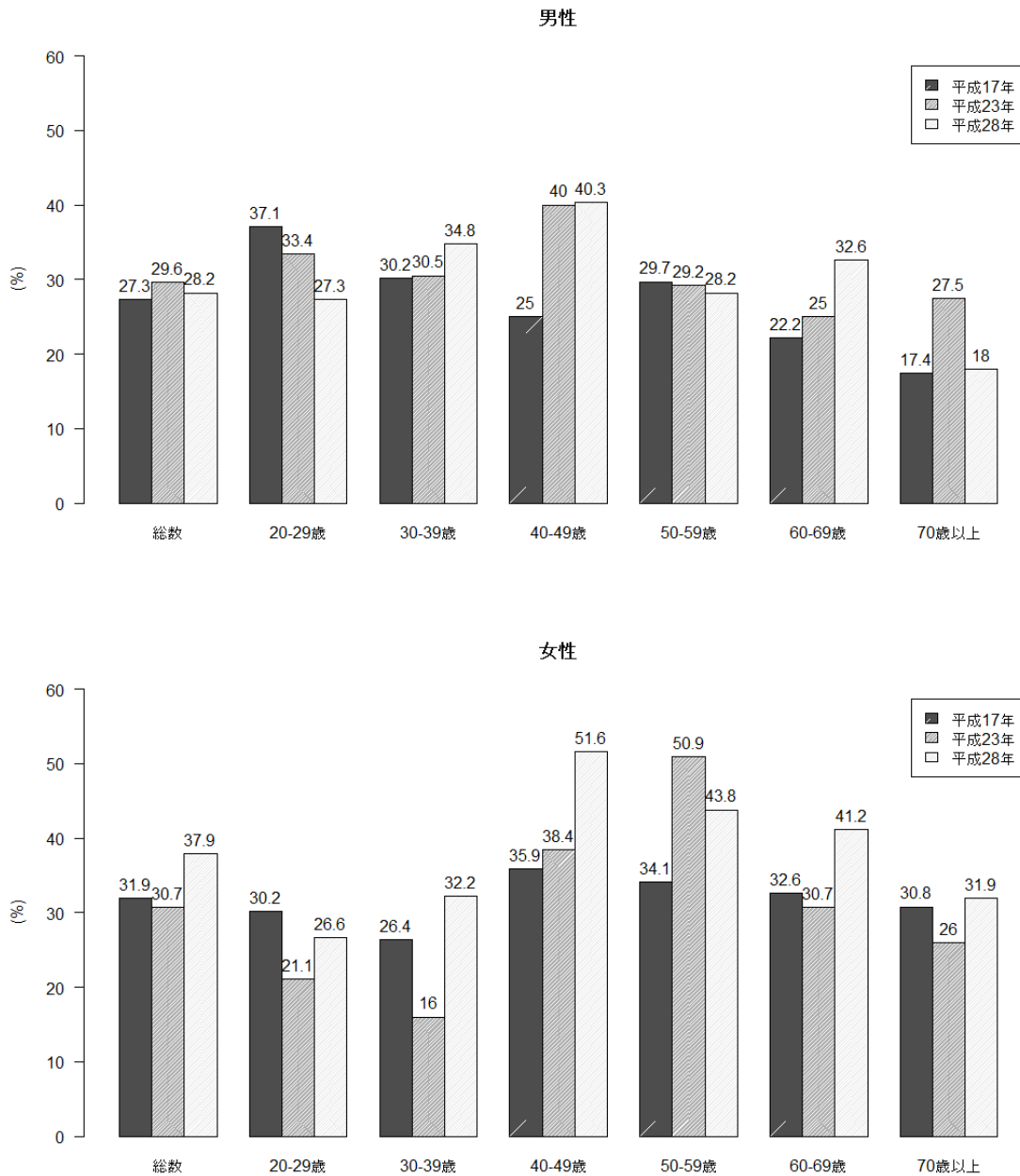
図6-1 1日の平均睡眠時間



**【参考】**  
 「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値  
 睡眠による休養を十分とれていない者の減少 15%

1日の平均睡眠時間が6時間未満の者は、男性28.2%、女性37.9%であった。

図6-2 一日の睡眠時間が6時間未満の者の推移（平成17年～平成28年の推移）

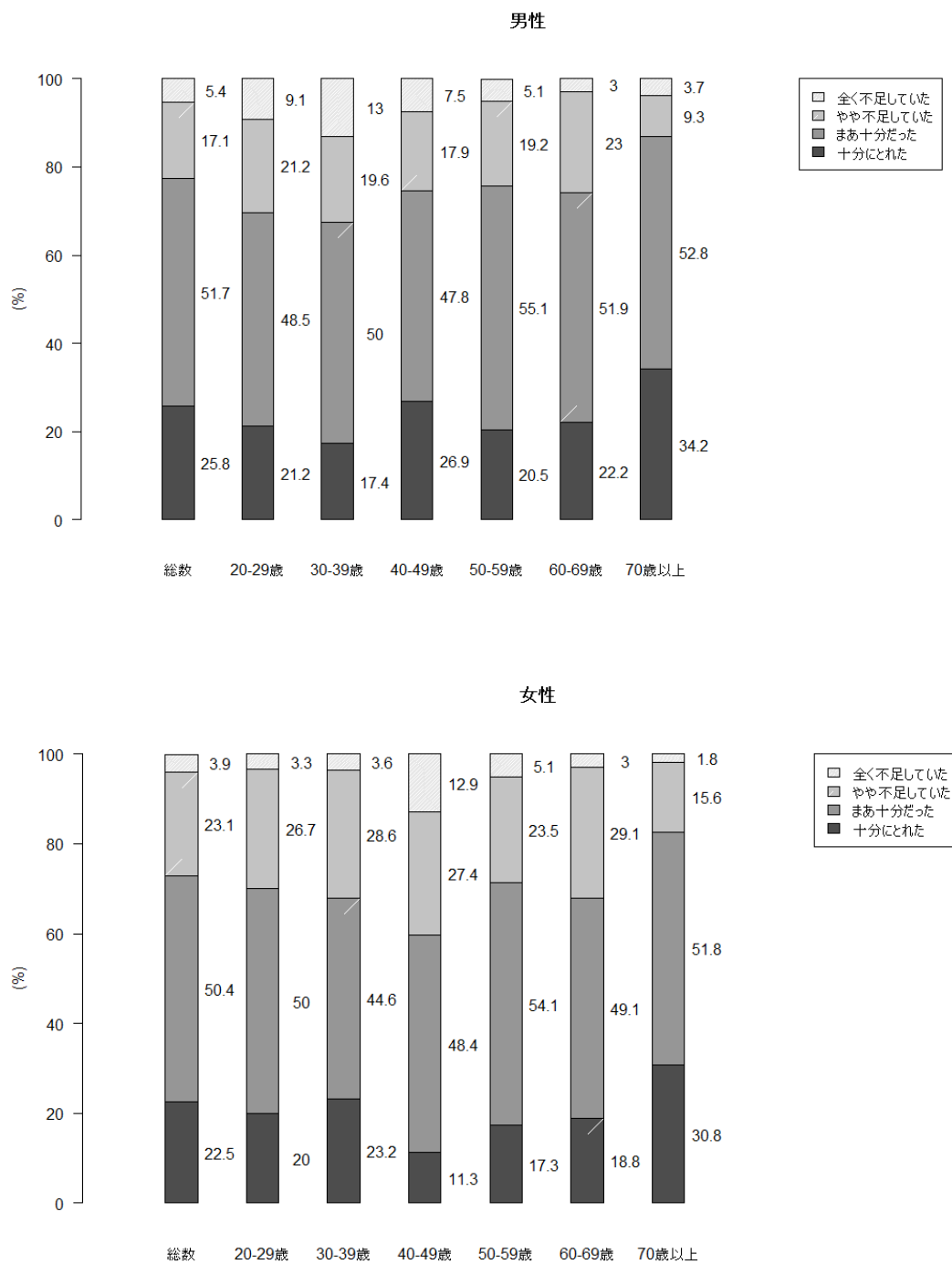


\* 『あなたの1日の睡眠時間は何時間ですか』の問に「5時間未満」「5時間以上6時間未満」と回答した者の合計

## 2.休養の状況

ここ1カ月間、睡眠で休養が「まったく不足していた」、「やや不足していた」と回答した者の割合を合わせると、男性 22.5%、女性 27.0%である。

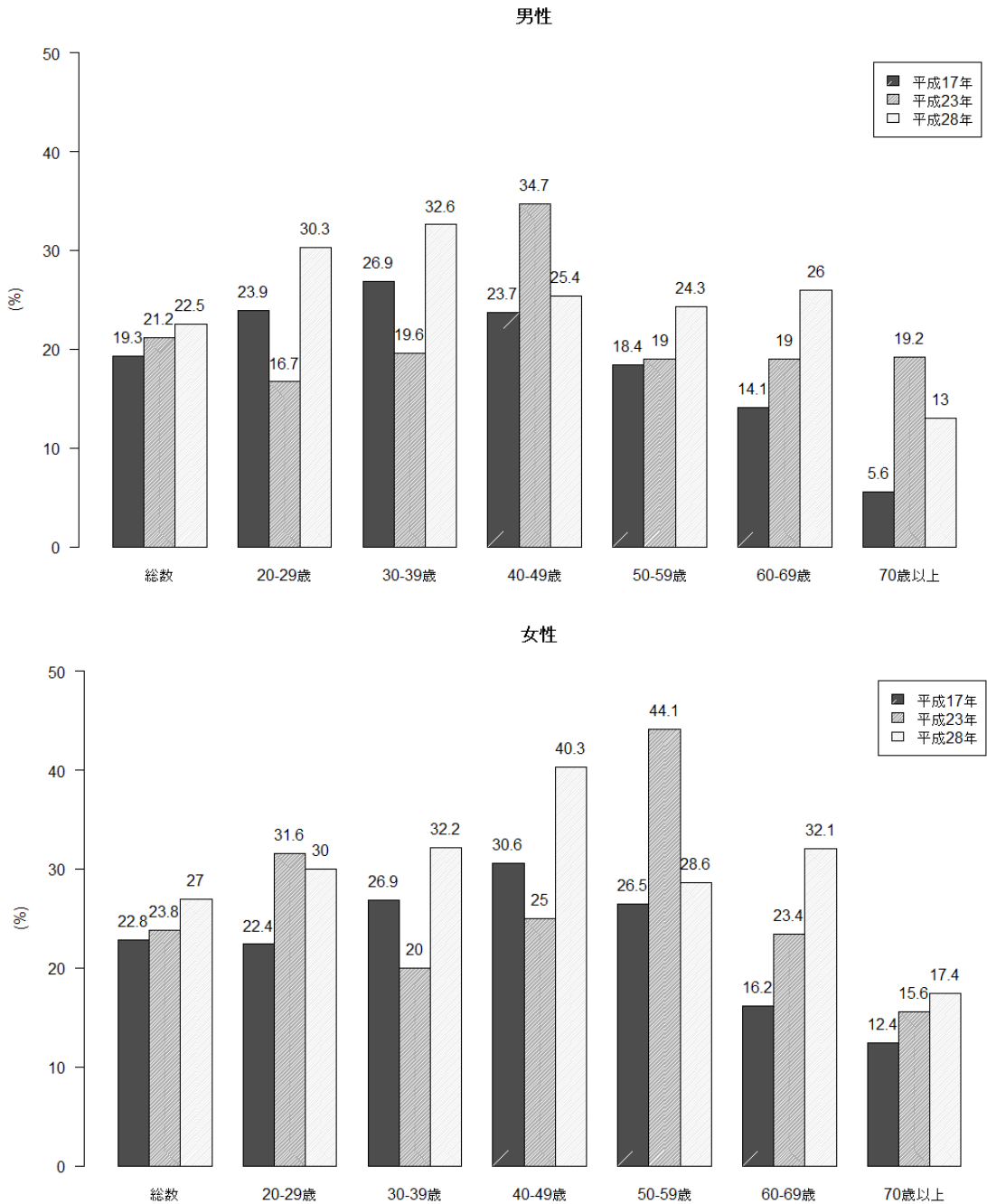
図 6-3 睡眠時間で十分休養がとれている者の割合





睡眠による休養が充分とれていない人の年次推移（平成17年～平成28年）

図6-4 睡眠による休養が充分とれていない人の年次推移（平成17年～23年の推移）

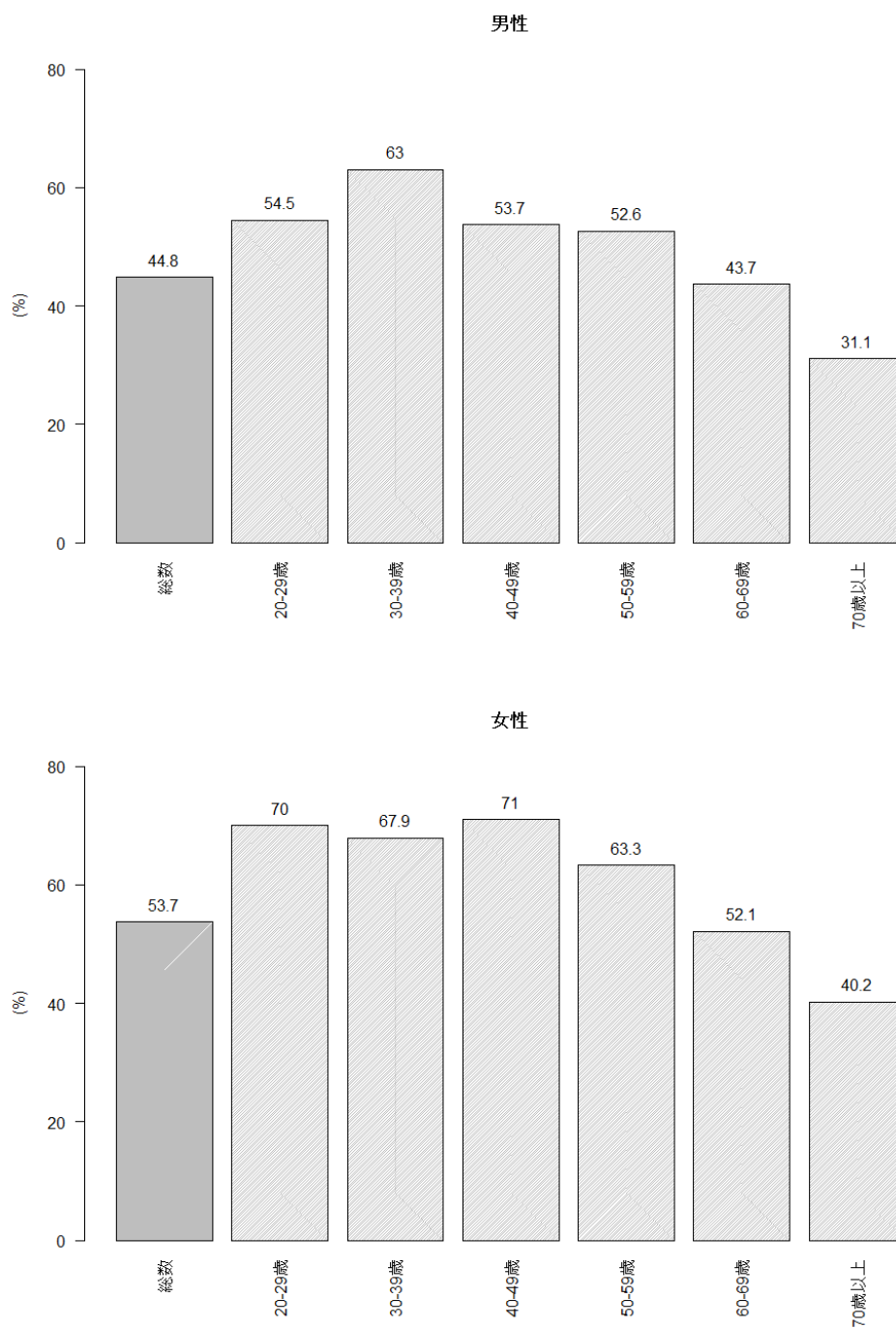


\* 『この1カ月間、睡眠によって休養が十分にとれましたか』の問に「やや不足していた」「まったく不足していた」と回答した者の合計

### 3. ストレスの状況

『現在ストレスを感じていますか』の問に対して「はい」と答えた人の割合は 男性が 44.8%、女性が 53.7%である。

図 6-5 現在ストレスを感じている者

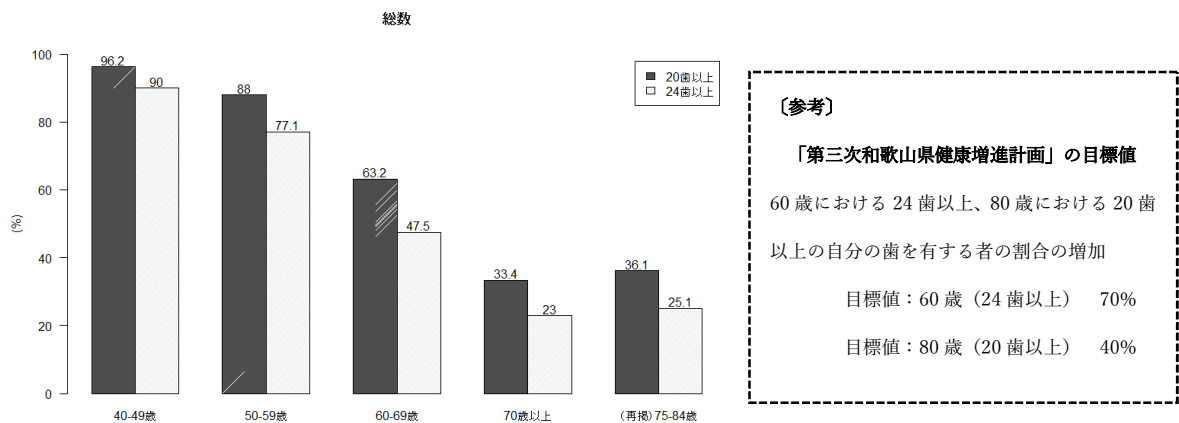


## 第7部 歯の健康に関する状況

### 1. 歯の本数（20 歯以上の割合）

自分の歯を 20 歯以上有する者の割合は、40 歳代で 96.2%、75 歳～84 歳で 36.1% である。

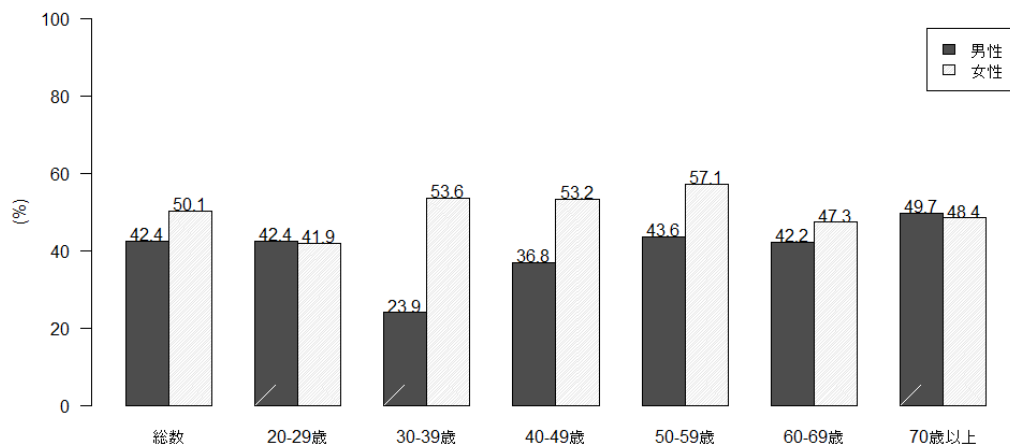
図 7-1 自分の歯を 20 本以上有する者の割合（40 歳以上）



\* 「自分の歯は何本ありますか」の問に対して、自己申告した歯の本数から算出

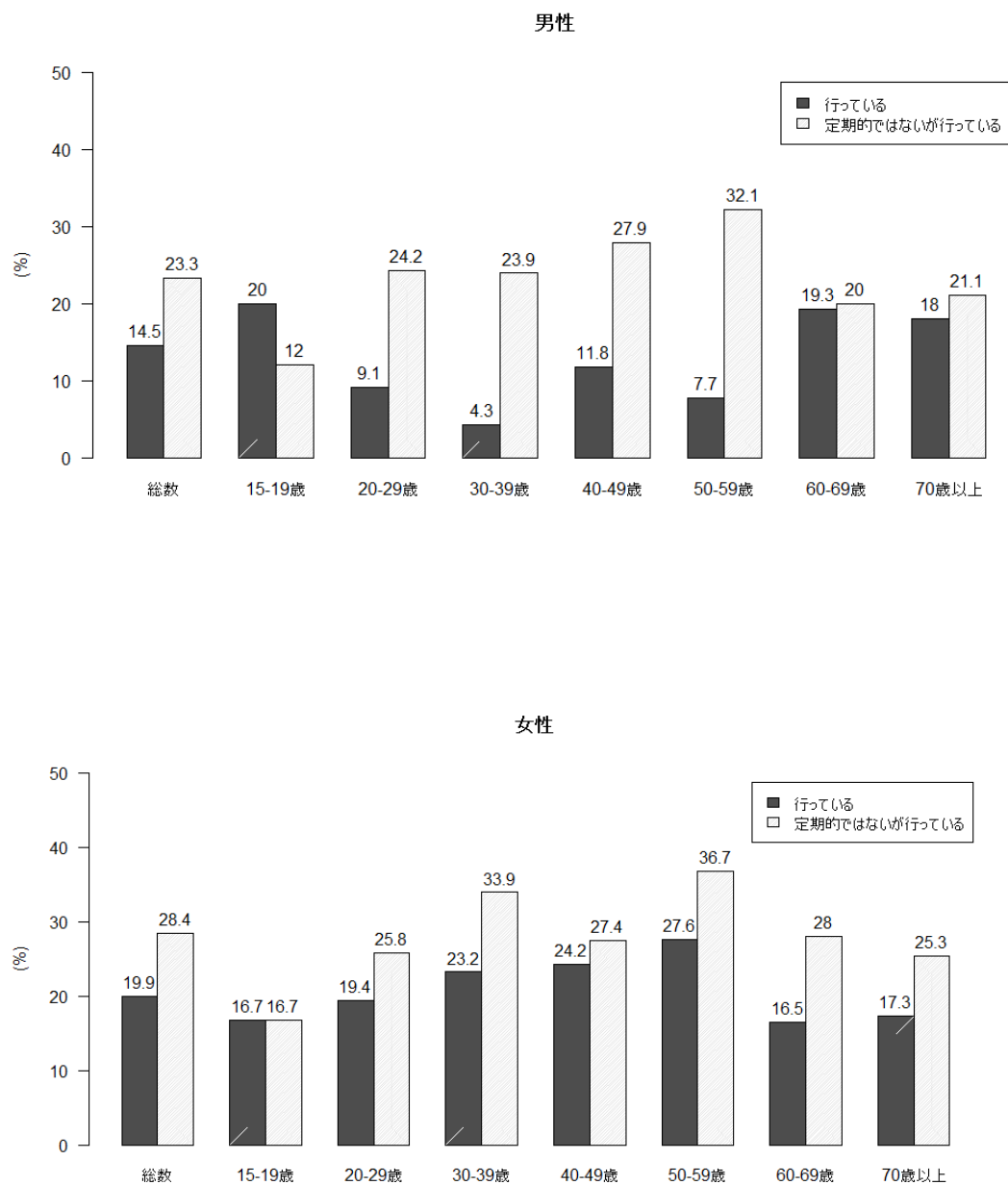
### 2. 専門家による支援と定期管理の状況

図 7-2 この 1 年間に歯科健康審査を受けたことがあると回答した者の割合



歯石の除去や歯面の清掃のため、定期的に歯科診療所に行っている者の割合は、男性で14.5%、女性で19.9%である。

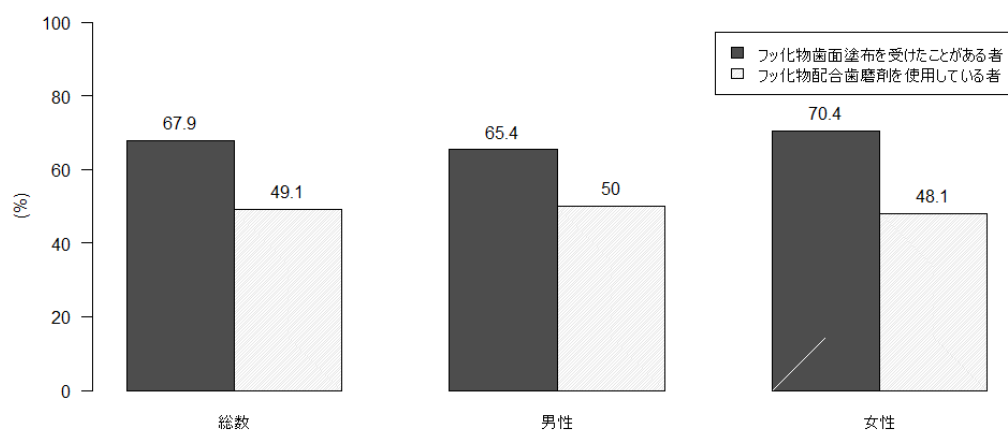
図 7-3 歯石の除去や歯面の清掃のため、定期的に歯科診療所に行っている者の割合



### 3.子どものむし歯の予防の状況

フッ化物歯面塗布を受けたことのある子どもの割合は、67.9%、フッ化物配合歯磨き剤を使用している子どもは49.1%である。

図 7-4 むし歯の予防のために行ったこと

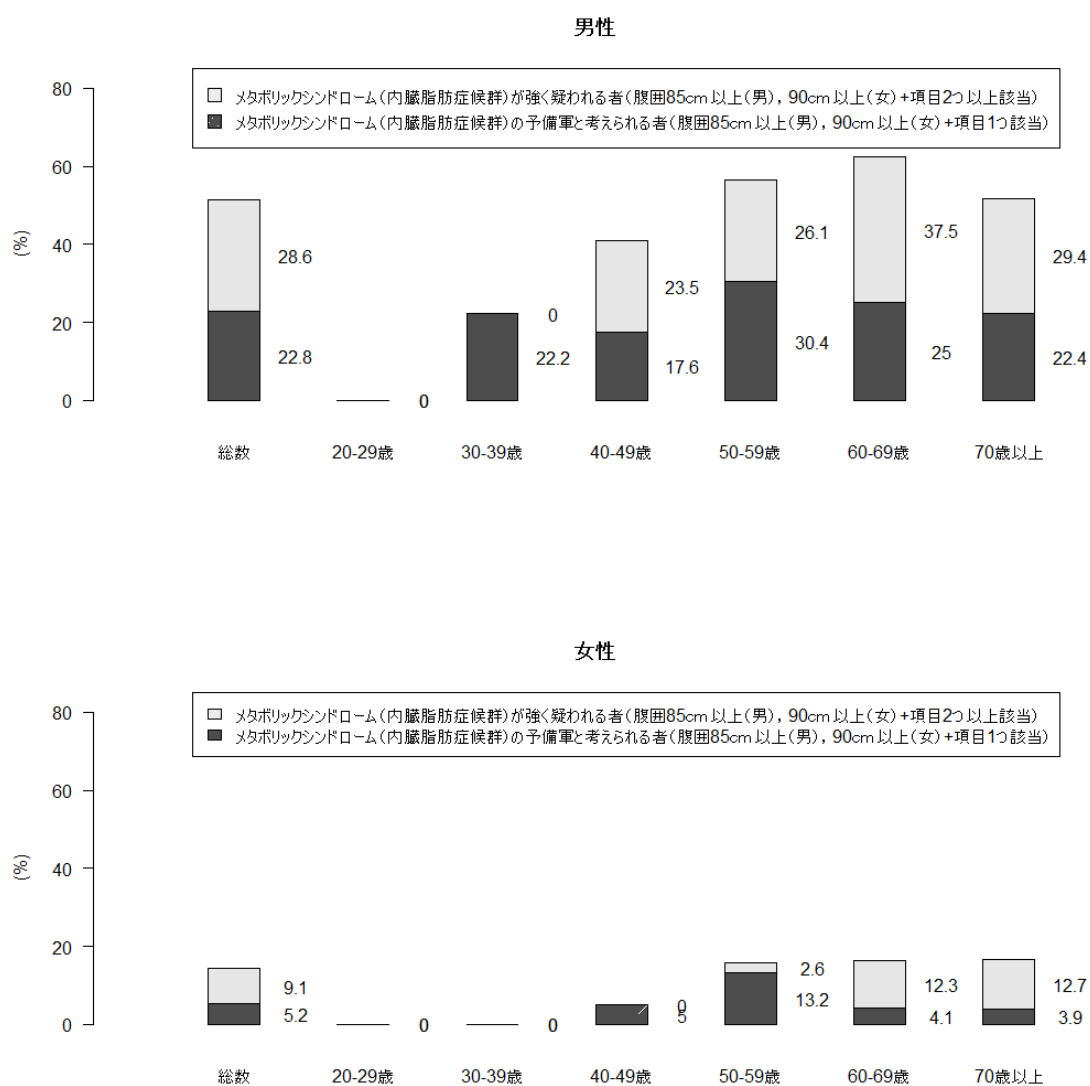


## 第8部 メタボリックシンドロームの状況

### 1.メタボリックシンドロームの状況

メタボリックシンドロームが強く疑われる者とその予備軍と考えられる者を併せた割合は、男性で51.4%、女性で14.3%であった。

図8-1 メタボリックシンドロームの状況



**【参考】**

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少 目標値:平成20年度と比べて25%減少

## 第9部 糖尿病の状況

### 1.糖尿病の状況

医療機関・健診で糖尿病といわれた者は、男性で19.5%、女性で12.5%であった。そのうち、糖尿病で現在治療を受けている者は男性で66.7%、女性で74.5%であった。

図9-1 糖尿病の者の割合（医療機関・健診で言われたことがある）

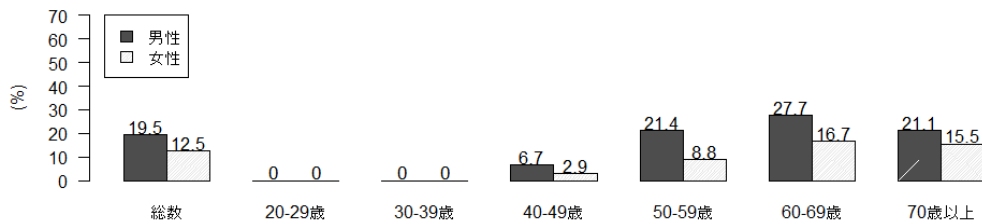


図9-2 糖尿病が強く疑われる者の割合

（ヘモグロビン A1c が6.5%以上の者または質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた者）

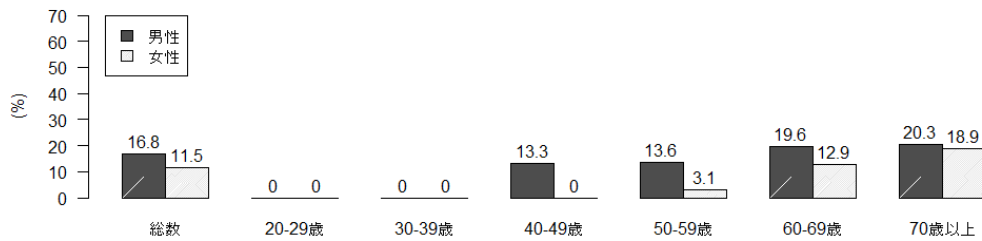
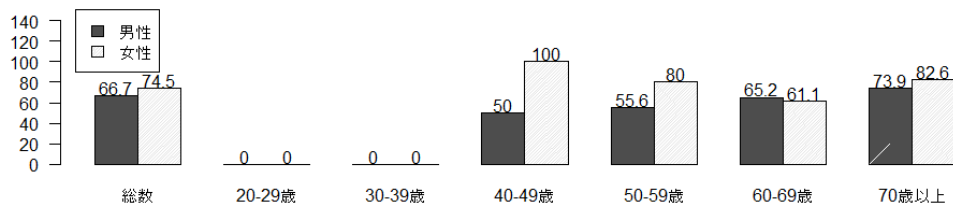


図9-3 糖尿病で現在治療を受けている者の割合



【参考】

「第三次和歌山県健康増進計画」の目標値

治療継続者の割合の増加 目標値：75.0%

## 第10部 検診の受診状況

特定健診を受けたことがあると答えた者は50.9%で、特定保健指導を受けたことがあると答えた者は12.8%、がん検診を受けたことがあると答えた者は50%であった。

図10-1 特定健診の受診率

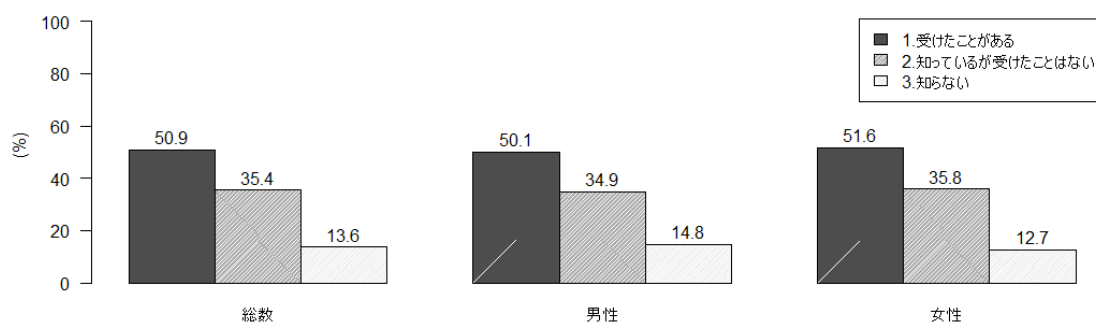


図10-2 特定保健指導の受診率

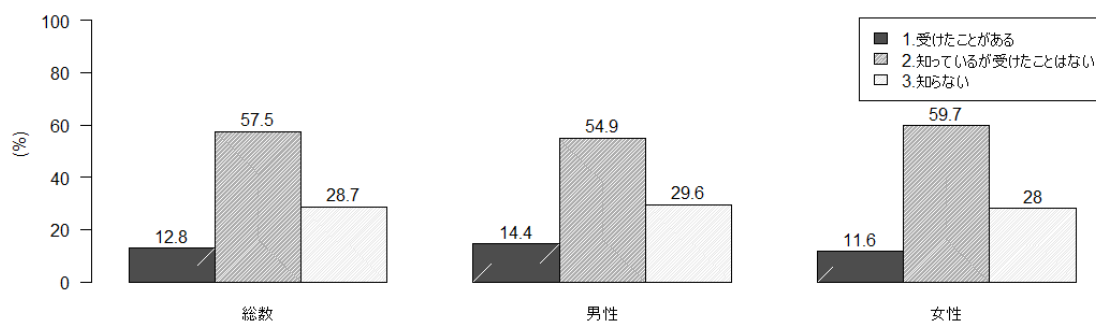


図10-3 がん検診の受診率

